スタートアップ・中小企業支援策のご紹介

更新日 ： 2026年 11月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部

ダウンロードは
こちらから

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

New Energy and Industrial Technology Development Organization

概 要

所　　管	経済産業省
職 員 数	1,640名（2026年4月1日現在）
予　　算	約5,052億円（2026年度当初予算） その他、基金事業を実施（約11.3兆円）

Mission

- ✓ エネルギー・地球環境問題の解決
- ✓ 産業技術力の強化

第5期中長期計画に基づく3つの取り組み

スタートアップ育成5か年計画達成に向け、技術シーズや事業構想を有する起業家候補の発掘・育成支援
ディープテック・スタートアップの実用化開発、海外技術実証、量産化実証の支援等を行っております。

01 研究開発マネジメントを通じたイノベーション創出

02 研究開発型スタートアップの育成

03 技術インテリジェンスの強化・蓄積

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

事業会社連携、人材育成等

スタートアップ支援

P.04－29

起業前の個人 / スタートアップ / 中小企業 / 大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発へ支援を行い、イノベーションを促進します。



技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

P.30－40

民間企業 / 大学・研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。

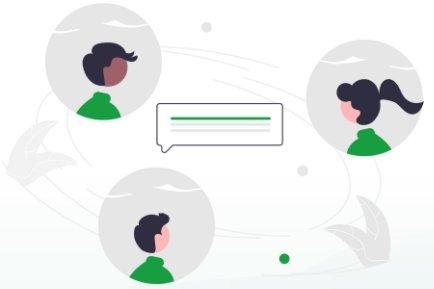


エコシステム形成

P.42－56

スタートアップ / 事業会社 / VC 支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、再生医療等製品に係る開発は除く。

支援策一覧

		コース名	ページ
技術開発に対する補助金支援	スタートアップ支援	ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 ／NEP（NEDO Entrepreneurs Program）開拓コース	P.10
		ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 ／NEP（NEDO Entrepreneurs Program）新星コース	P.12
		ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業 ／NEP（NEDO Entrepreneurs Program）躍進コース	P.14
		ディープテック・スタートアップ支援事業 ／ DTSU（Deep-Tech Startups Support Program） GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業 ／ GX	P.16
		ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 ／ UPP事業（Unicorn Promotion Program） GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 ／ GX_UPP事業	P.18
		ディープテック・スタートアップ支援基金 ／ 国際共同研究開発	P.20
		SBIR（Small / Startup Business Innovation Research）推進プログラム	P.22
		脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム	P.24
		新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	P.26
		大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業 GX分野の大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業	P.28
	技術シーズ発掘・育成支援	官民による若手研究者発掘支援事業	P.32
		科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業	P.34
		NEDO先導研究プログラム	P.36
		NEDO懸賞金活用型プログラム ／ NEDO Challenge	P.38
事業会社連携、人材育成等	エコシステム形成	研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 ／ NEDO SSA（NEDO Startup Supporters Academy）	P.44
		大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 ／ MPM（Management Personnel Matching program）	P.46
		大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／HiP（実証事業）	P.48
		事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】	P.49
		オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 ／ JOIC（Japan Open Innovation Council）	P.50
		JOIC-OIA（JOIC Open-Innovation Acceleration Academy）	P.51
		海外研究者招へい事業／STeP JAPAN （Science and Technology Fellowship Program for JAPAN）	P.52
		J-Startup	P.53
		NEDOデスク	P.54
		K-NIC（Kawasaki-NEDO Innovation Center）	P.55
		Plus（Platform for unified support for startups）	P.56

事業概要

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

事業会社連携、人材育成等

スタートアップ支援

P.04－29

起業前の個人 / スタートアップ / 中小企業 / 大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発へ支援を行い、イノベーションを促進します。



技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

P.30－40

民間企業 / 大学・研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。



エコシステム形成

P.40－55

スタートアップ / 事業会社 / VC 支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。

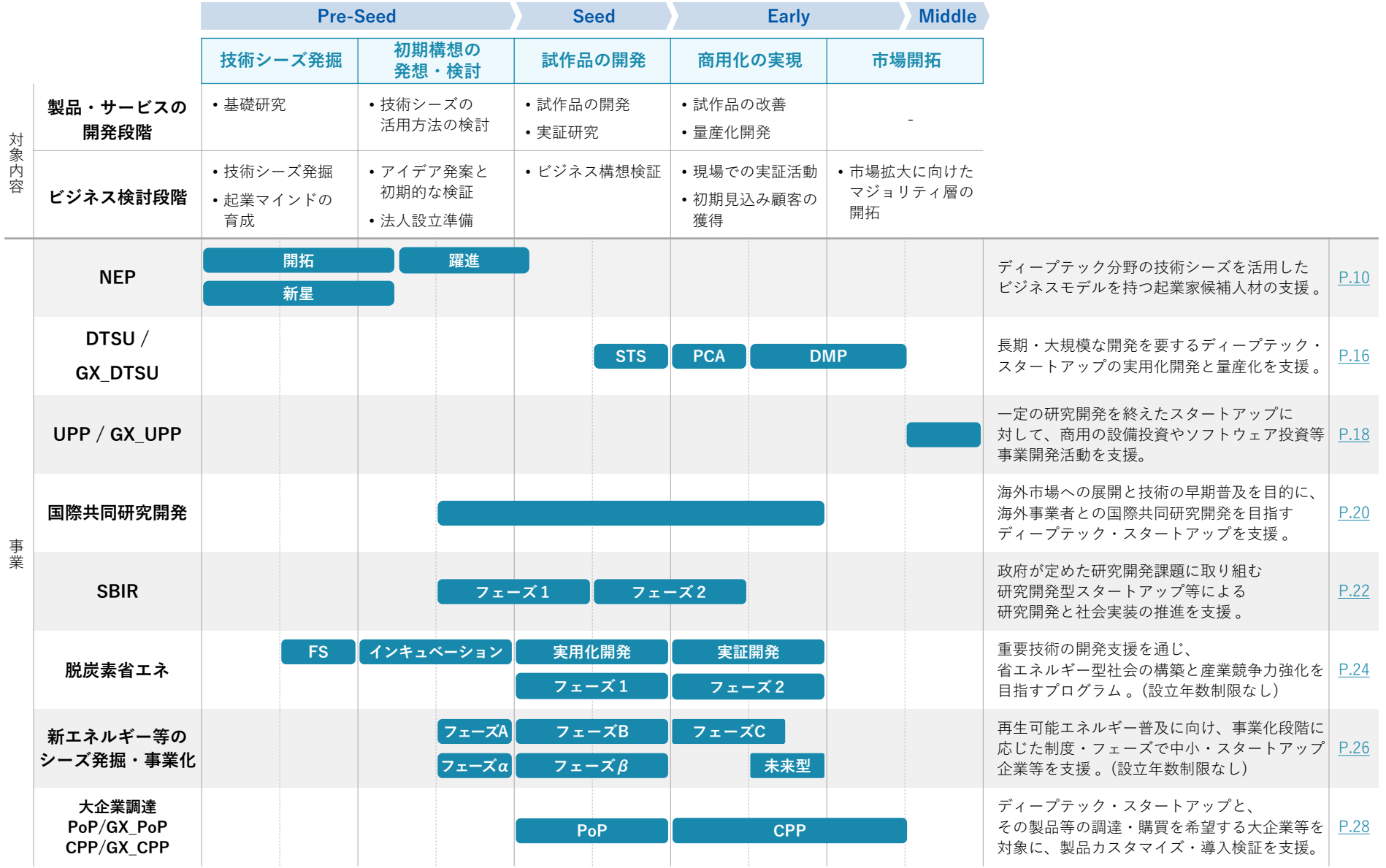


支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、再生医療等製品に係る開発は除く。

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業

成長ステージに合わせた支援事業ラインアップ



NEDOのスタートアップ等支援の全体像

	NEP (NEDO Entrepreneurs Program)			国際共同研究	SBIR (Small / Startup Business Innovation Research)	
	開拓コース	新星コース	躍進コース		フェーズ１	フェーズ２
補助額	300万円 迄		3,000万円 以内	1億円 以内	一気通貫型 2,000万円 以内 連結型 1,500万円 以内	一気通貫型 1億円 以内 連結型 5,000万円 以内
期間	12か月 程度		12か月 以内	原則 2-3年	原則 1年 以内	原則 2年 以内
補助率	1/1		1/1 or 3/4	2/3 以内	1/1	2/3
対象者	起業前の個人	起業前の個人（九州・女性）	起業後の法人	日本国内に登記される未上場の中小企業	日本国内に登記される原則設立15年以内の中小企業	
目安段階	Pre-Seed			Seed		
支援概要＆特徴	• 起業家研修 • アイデアの実現可能性調査 • 伴走支援者、カタライザによるサポート • 潜在顧客との面談アレンジ、外部人材の紹介など		• ビジネスモデルブラッシュアップ • NEP事業の経理支援	• 対象国・事業者との共同研究を支援 • NEDOは対象国の公的支援機関と連携し、共同研究開発をサポート	• 政府機関があらかじめ設定する課題の解決に資する技術についてPoC及びF/Sの実施 • 内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業	• フェーズ1の検証結果を踏まえた、実用化研究開発 • フェーズ２からの応募も可能 • 内閣府を司令塔に公共調達や市場での展開を促進する事業

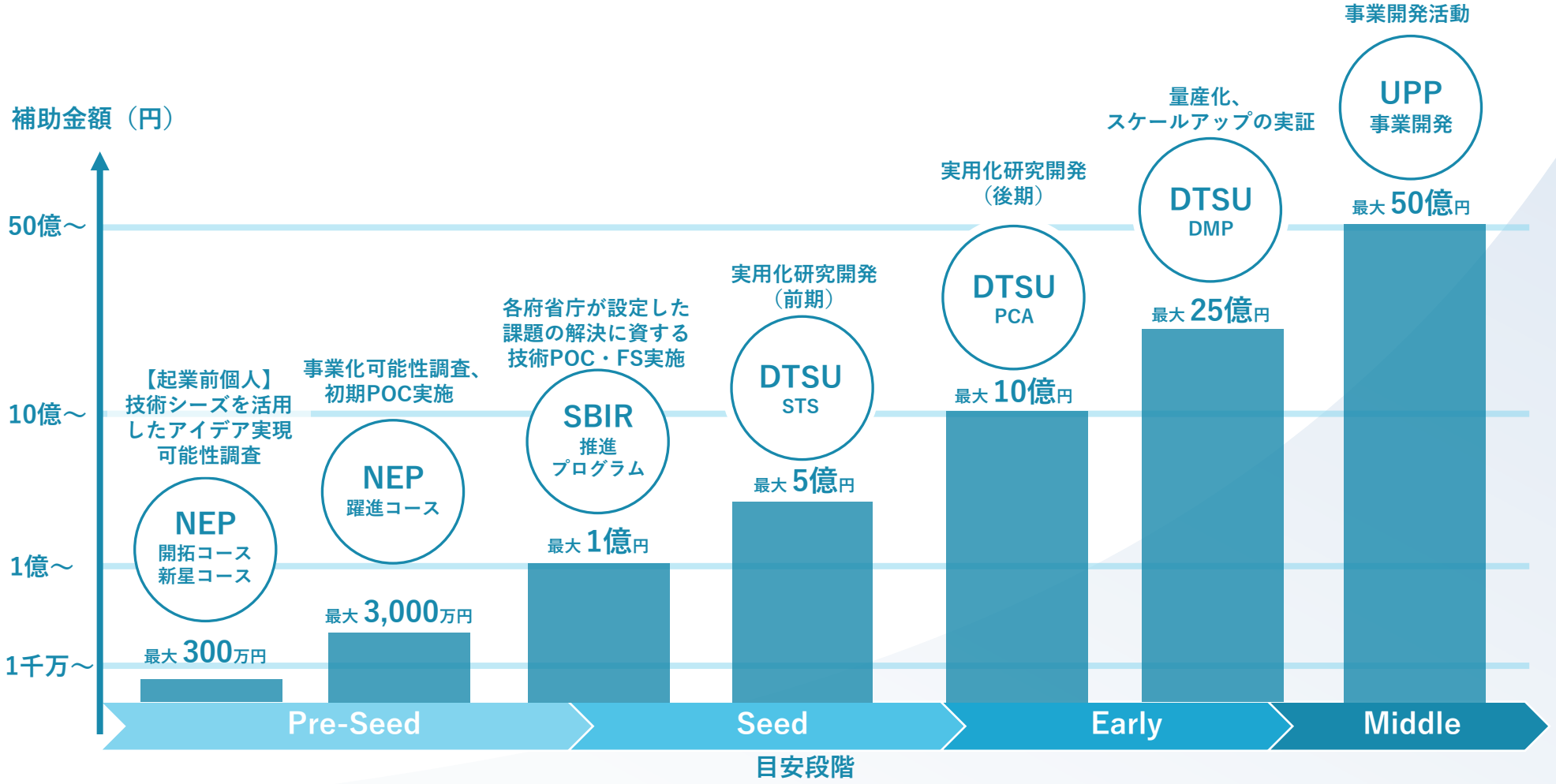
NEDOのスタートアップ等支援の全体像

	ディープテック・スタートアップ支援事業 DTSU (Deep-Tech Startups Support Program)			ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 UPP (Unicorn Promotion Program)	
	STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups	PCAフェーズ Product Commercialization Alliance	DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production	事業開発	
補助額	最大 5億円	最大 10億円	最大 25億円	UPP 最大 30億円 以内	GX_UPP 最大 50億円 以内
	SG審査通過で最長６年、上限30億円				
期間	各フェーズ 1.5-2年 程度 （同一フェーズ内で最長4年）			3年 以内	4年 以内
補助率	2/3 以内	2/3 以内	2/3 or 1/2 以内	1/2 or 1/3 以内	1/2 以内
対象者	日本国内に登記される未上場の中小企業（みなし大企業のぞく、設立から一定以内要件等あり）				
目安段階	Seed		Early	Middle ～	
支援概要＆特徴	• 要素技術の研究開発 • 試作品の開発 • 事業化可能性調査	• 初期の生産技術開発 • 主要市場獲得に向けた可能性調査	• 商用化に向けた量産技術確立、実証 • サンプル出荷	• 事前のRFI等によって設定された領域での支援 • 商用の量産プラントの建設、他社との事業連携、量産技術の改良	

NEDOのスタートアップ等支援の全体像（イメージ）

スタートアップのフェーズに応じて、研究開発支援を実施！

EXIT
(IPO, M&A)



このほかに大企業等・
海外企業との連携も支援

大企業調達PoP 最大1億円／CPP 最大10億円　スタートアップと事業会社との連携・調達の促進

国際共同研究開発 最大1億円　スタートアップ・中小企業と海外企業等との共同研究を支援

【参考】NEP／DTSU事業の対象フェーズ判定チャート

事業開発の一般的なプロセスに基づいた支援対象ステージ

START

特定の技術シーズを活用したビジネスアイデアについて考え中であり、
ビジネスモデルの構築には至っていない。

YES → NEP 開拓 / NEP 新星

起業に向けて、伴走支援者からの助言を受けつつ、
技術シーズのビジネス活用の可能性を検討する。

Done ↓

技術シーズを活用した一定のビジネスモデルを持っているが、
具体的な製品・サービスの設計や市場や顧客ニーズの把握がまだ十分でなく、
ビジネスモデルのブラッシュアップが必要である。

YES → NEP 躍進

研修の受講や専門家の助言を受けつつ、ビジネスモデルのブラッシュアップを行う。並行して、試作品の設計・製作を進める。
（ 応募時に法人が設立されている必要はないが交付申請には法人設立が必須）
※ 企業からのカーブアウト案件も対象

Done ↓

技術シーズを活用したビジネスについて一定の構想が描けており、
製品・サービスの初期的な試作品を開発して検証しつつ、
想定顧客とのコミュニケーションを始めつつある、あるいは始めている。

YES → DTSU STS / GX STS

初期的な試作品の開発を進めると共に、
特定の想定顧客に対してビジネスが成り立つことの仮説検証を行う。
（所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。）

Done ↓

技術シーズを活用したビジネスについて、製品・サービスに関する
想定顧客とのコミュニケーションを通じてブラッシュアップを図りつつ、
主要市場の開拓などビジネスのスケール化について検討している。

YES → DTSU PCA / GX PCA

想定顧客とのコミュニケーションによって得られるフィードバック等を基に、
試作品の商用品に向けたブラッシュアップ開発を行うと共に、
初期市場とその先の主要市場の開拓に向けた調査やビジネス検証を行う。
（所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。）

Done ↓

技術シーズを活用したビジネスについて、製品・サービスを基にした
特定の顧客とのビジネスが成立する見込みが立っており、その実現のために
量産技術・量産体制等の構築や大規模な実証を行う段階にきている。

YES → DTSU DMP / GX DMP

主要市場における幅広い顧客を対象とした、量産化に係る検証や
大規模な実証を行うことで、商用化に向けたビジネス検証を行う。
（所定の時点でVC等、CVCが株主に含まれることが必須。）

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 開拓コース

詳細ページ

**ディープテック分野での技術シーズを活用した
アイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材（FR）を支援します。**

技術シーズの発掘 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

コース	補助金額	対象者	事業期間
開拓コース	**月額 25万円(税込)**　上限 300万円迄 調査活動において自らが必要と判断した経費 （研究開発費、旅費・交通費、資料購入費 等）	起業前の個人 （チームを組んでいる方でも可）	12か月程度

支援のポイント

- 自由度の高い活動費の支給
- 経験豊富な統括支援者SVrと伴走支援者ARによる手厚い伴走支援
- 若手の方を歓迎（40歳未満の方優遇）

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
NEP 開拓コース

活動イメージ

- ✓ 起業家候補人材FRはNEDOへ毎月活動報告を行うと共に、月額25万円を使用して活動。
- ✓ 技術シーズを活用したビジネスアイデアの実現可能性調査を、経験豊富な伴走支援者（AR）のサポートを受けながら実施。

起業家候補人材
FR（Front - Runner）

活動内容：技術シーズの活用検討、試作品開発、
顧客理解・ビジネスモデル作成 等

相談 ↓
↑ サポート
メンタリング等

AR（Accompany - Runner）

一例 ・知財コンサル
・理学博士号保持者
・VC出身者 等
業界を牽引する実績を有する伴走支援者

統括支援者 SVr

技術カタライザー
専門カタライザー

採択までの流れ

2月～3月上旬頃	3月中旬～下旬頃	3月下旬頃
書面審査	面談審査	採択決定

応募について

応募書類

- プロフィールシート
- 「技術の活用アイデア」等説明資料
  - └ 応募者の情報、活用する技術シーズ
  - └ 現時点での技術の活用アイデア等
- 承諾書（該当者のみ）

審査基準

- 事業の趣旨に合致した人物か
- 育成対象とすべき人物か等

※ 特に人物面を重視
※ 応募時点で満40歳未満の者等は優遇措置有り

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 新星コース

詳細ページ

九州近隣の出身・在住・事業展開を考える女性で、ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う「新星起業家候補」を支援します。

技術シーズの発掘 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

コース	補助金額	対象者	事業期間
新星コース	**月額 25万円**(税込)　上限 300万円迄 調査活動において自らが必要と判断した経費（研究開発費、旅費・交通費、資料購入費 等）	起業前の個人 （チームを組んでいる方でも可） かつ 九州地域・近隣地域（中国地方、四国地方、沖縄島）に縁のある女性	12か月程度

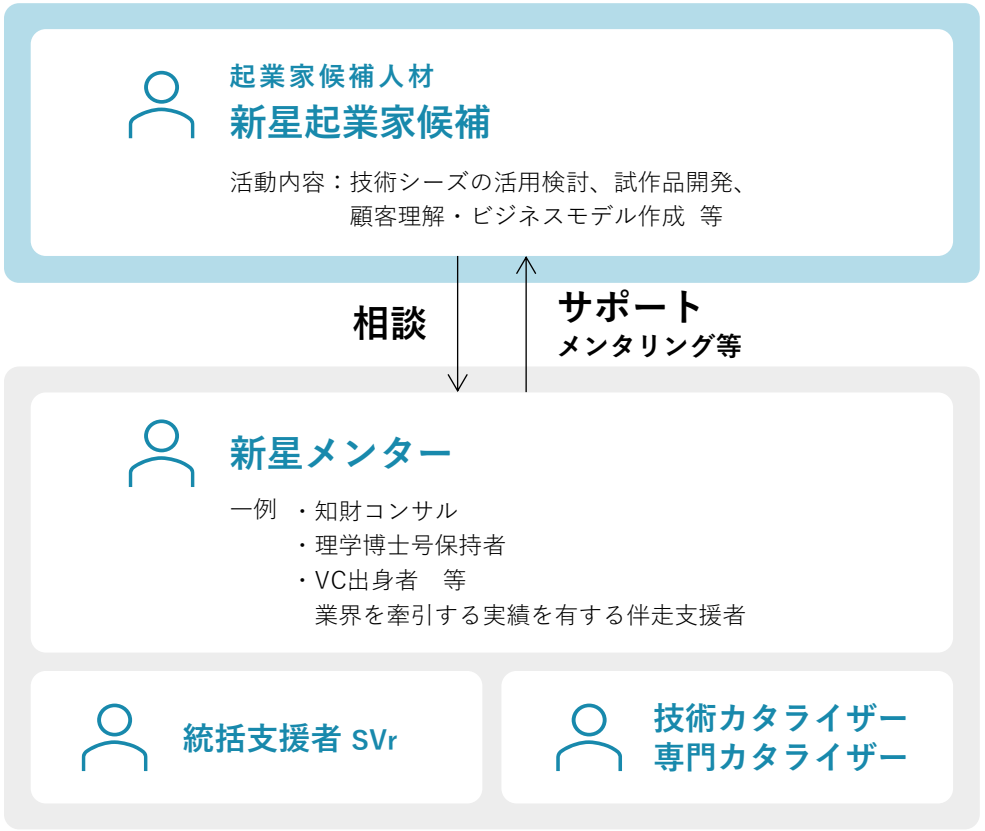
支援のポイント

- 自由度の高い活動費の支給
- 経験豊富な統括支援者SVrと伴走支援者 新星メンターによる手厚い伴走支援
- 九州地方／女性支援に特化したプログラム（研修や参加への配慮あり）

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
NEP 新星コース

活動イメージ

- ✓ 新星起業家候補は新星コース運営事務局へ毎月活動報告を行うと共に、月額25万円を使用して活動。
- ✓ 技術シーズを活用したビジネスアイデアの実現可能性調査を、経験豊富な伴走支援者（新星メンター）のサポートを受けながら実施。



採択までの流れ

2月～3月上旬頃	3月中旬～下旬頃	3月下旬頃
書面審査	面談審査	採択決定

応募について

応募書類

- プロフィールシート
- 「技術の活用アイデア」等説明資料
  - └ 応募者の情報、活用する技術シーズ
  - └ 現時点での技術の活用アイデア等
- 承諾書（該当者のみ）

審査基準

- 事業の趣旨に合致した人物か
- 育成対象とすべき人物か等

※ 特に人物面を重視
※ 応募時点で満40歳未満の者等は優遇措置有り

ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業
NEP（NEDO Entrepreneurs Program）／ 躍進コース

詳細ページ

**ディープテック分野で“具体的な技術シーズ”を活用した
ビジネスモデルを有する起業家候補人材を支援します。**

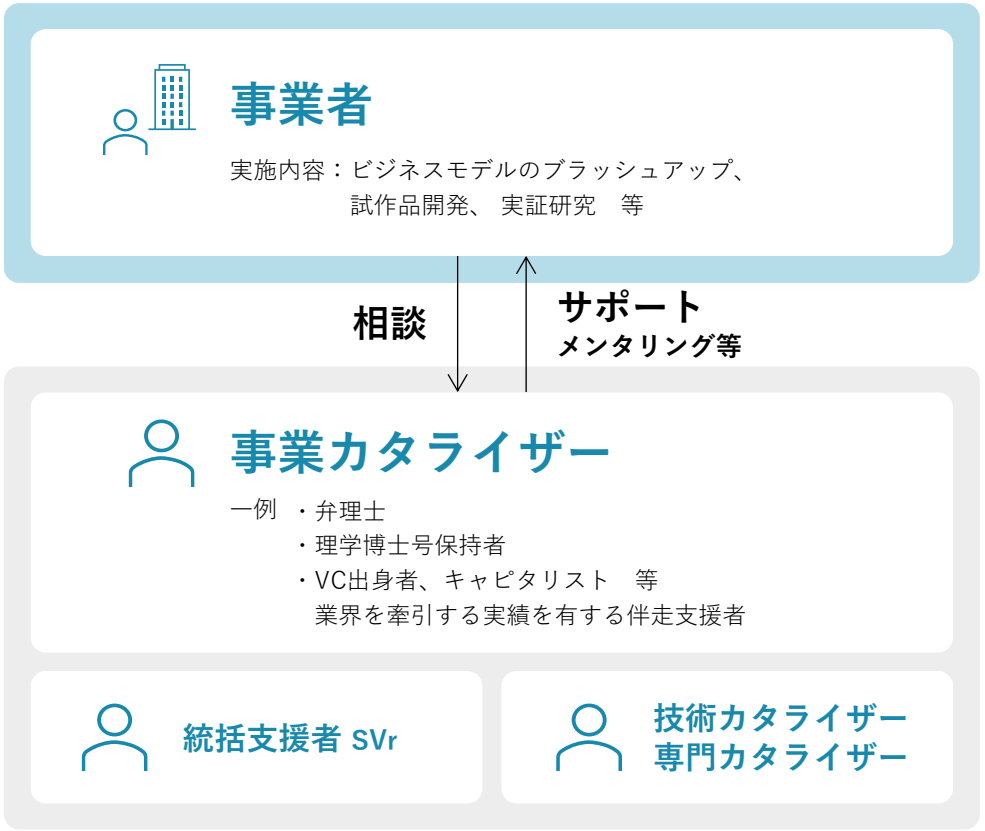
技術シーズの開発研究 ▶ **初期構想の発想・検討** ▶ **試作品の開発** ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

コース	補助対象費用 ※補助対象費用×補助率＝補助金額		対象者 応募時	対象者 交付決定先	事業期間
躍進500 **躍進3000** ※ 躍進3000：VC等からの出資関心確認書の提出が必要	**500 ：500万円未満**	補助率 1/1	**個人・チーム・法人**	**法人**	12か月以内
	3000：3,000万円以内	補助率 1/1			
躍進カーブアウトA **躍進カーブアウトB** ※ カーブアウトA・B：「支援対象証明書」の提出が必要	**A：500万円未満**	補助率 3/4	**個人・チーム**	カーブアウトを想定する **個人・チーム**	
	B：3,000万円以内	補助率 3/4	**個人・チーム・法人**	カーブアウト後の **法人**	
躍進GX ※ VC等からの出資関心確認書の提出が必要	**3,000万円以内**	補助率 1/1	**個人・チーム・法人**	**法人**	

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
NEP 躍進コース

活動イメージ

✓ **事業者は製品・サービスの試作品開発や、顧客候補のフィードバック等によるビジネスモデルのブラッシュアップといった事業化促進の活動を事業カタライザーのサポートを受けながら実施。**



採択までの流れ

5～6月上旬頃	6月～7月	7月上旬～8月中頃
書面審査	面談審査 躍進3000 ・ 躍進カーブBのみ	採択決定

応募について

応募書類

- 提案書
- 技術シーズの原理確認や市場でのニーズ確認（PoC）の内容や計画・体制、企業化計画、他
- コースにより「出資関心確認書」や「支援対象証明書」

審査基準

- 本事業の趣旨との整合
- 人物評価
- 技術評価
- 事業性評価
- 資金調達に関する評価

ディープテック・スタートアップ支援事業 ／ DTSU
GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業 ／ GX

詳細ページ

**GX分野も含め、“技術の事業化までに長期間を要する
ディープテック・スタートアップ”の実用化研究開発・量産化実証を支援します。**

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ **試作品の開発** ▶ **商用化の実現** ▶ 市場開拓

フェーズ	補助金額	補助率	対象者	事業期間
STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups **実用化研究開発（前期）**	**3億円 or 5億円以内※**	補助率 **2/3以内**	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査等を行うスタートアップ	1.5～2年程度 （次の資金調達までの期間が目安） ただし、同一フェーズ内で最長4年
PCAフェーズ Product Commercialization Alliance **実用化研究開発（後期）**	**5億円 or 10億円以内※**	補助率 **2/3以内**	試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査等を行うスタートアップ	
DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production **量産化実証**	**DTSU事業：25億円以内**	補助率 **原則1/2以内（例外有）**	量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証等を行うスタートアップ	
	GX事業：25億円以内	補助率 **2/3以内**		

※ 事業化連携に係る連携先の関心表明書や海外技術実証に係る計画書を提出する場合、上限額の引き上げが可能。

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
DTSU・GX

主な要件

詳細	DTSU STS	DTSU PCA	DTSU DMP	GX STS	GX PCA	GX DMP
中小企業基本法等に定める中小企業 みなし大企業等を除く	●	●	●	●	●	●
設立からX年以内 例外有	10年	10年	15年	10年	10年	15年
VC・CVC等が株主構成に加わっていること 採択決定日以降のNEDOが指定する日まで	●	●	●	●	●	●
GXに係る取り組み申告書の提出が必要	-	-	-	●	●	●
資金調達要件の有無 所定の期間内に1社以上の以下の法人から補助対象費用の1/3以上の出資・融資が得られること ＜対象法人＞ STS：VC等、CVC、事業会社からの出資（VC等またはCVC必須） PCA：VC等、CVC、事業会社からの出資、金融機関からの融資（融資のみはNG）	●	●	原則必須ではないが例外有			
連携先との間で取り交わした「量産化実証、共同研究、調達、販路開拓等に関する覚書等」の提出	-	-	●	-	-	●

支援イメージ



技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
UPP・GX_UPP

ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 ／ UPP事業（Unicorn Promotion Program）
GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 ／ GX_UPP事業

詳細ページ

一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、
商用の設備投資やソフトウェア投資等事業開発活動を支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ **商用化の実現** ▶ **市場開拓**

事業	補助金額	対象領域	事業期間
 **UPP事業**	**30億円以内** 補助率 **原則1/3以内、例外1/2以内**	**公募ごとに領域を設定** ※ 過去の領域の事例 〇医療機器・ヘルスケア 〇スマート農業・バイオマス 〇AIロボット	3年以内
 **GX_UPP事業**	**50億円以内** 補助率 **1/2以内**	**公募ごとに領域を設定** 第３回公募 〇資源循環 〇高効率・省エネモビリティ ※ 過去の領域の事例 〇蓄電池 〇資源循環 〇自動化技術	4年以内

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
UPP・GX_UPP

公募スケジュール

GX_UPPについて
10月16日～11月17日で公募受付

第1回	第2回	第3回
済	済	
2025年3月～4月	2025年11月～12月	2026年 秋

主な要件

詳細	UPP	GX_UPP
中小企業基本法等に定める中小企業 みなし大企業等を除く	●	●
設立から20年以内	●	●
事業の総額（補助事業者負担分を含む）が10億円以上の提案	●	●
売上高研究開発費割合が、5%以上の企業	●	●
採択決定日以降のNEDOが指定する日（別途資料参照）までに VC等またはCVC、これらに類する者が株主構成に加わっていること	●	●
補助事業の実施を通じて実施する予定のCO2排出削減のための取組が記載された「GXに係る取組申告書」を提出すること	-	●

ディープテック・スタートアップ支援基金 ／ 国際共同研究開発

詳細ページ

海外市場への展開と早期の技術普及を目的とし、海外事業者との共同研究開発を希望するディープテック・スタートアップに対し、当該国際共同研究開発を支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ **初期構想の発想・検討** ▶ **試作品の開発** ▶ **商用化の実現** ▶ 市場開拓

対象国	補助金額	対象者	事業期間
2026年度対象国 **◆欧州** オーストリア、ベルギー（フランダース地域）、エストニア、フランス、ドイツ、リトアニア、ルクセンブルク、スペイン、スイス、英国 **◆アジア** 韓国、シンガポール **◆その他エリア** カナダ、イスラエル、トルコ	**1億円以内/件** 補助率 **2/3以内**	• 日本に登記されている未上場の中小企業 • 主要な研究開発拠点を日本国内に有する • 提案者の主任研究者は日本の居住者 • 相手国側企業等と国際共同研究開発プロジェクトを実施する見込みであって、当該企業等と共同研究契約を締結できる	原則 2〜3年

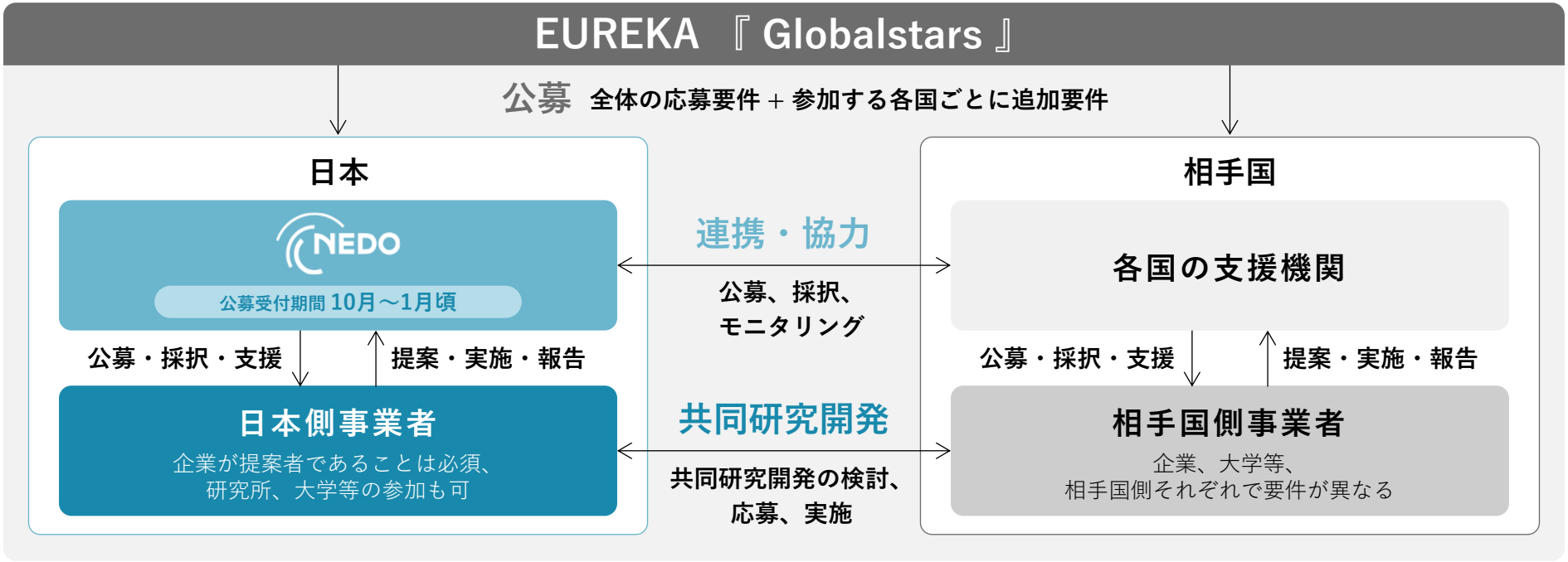
技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
国際共同研究開発

事業スキーム

- ✓ 欧州を中心とする各国の研究開発・イノベーション支援機関等の国際的なネットワークであるEUREKAのGlobalstarsスキームを活用した多国間共同公募方式。

主な要件

- ✓ 未上場の中小企業であり、主要な研究開発拠点を日本国内に有すること。
- ✓ 提案者の主任研究者は日本の居住者であること。
- ✓ 相手国側事業者と、知的財産権等の取り扱いに関する共同研究契約を締結できること。



SBIR（Small / Startup Business Innovation Research）推進プログラム

詳細ページ

革新的技術を持つスタートアップ・中小企業に対し、PoCやFSの実施を支援します。
国のニーズに合致した技術として磨き上げ、公共調達や市場での展開を促進します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 **フェーズ1** 概念実証PoC/ 実現可能性調査（FS）支援	一気通貫型：2,000万円以内 補助率 1/1 連結型　：1,500万円以内 補助率 1/1	研究開発課題に対して、 解決に資する技術シーズを有している スタートアップ等	原則 1年以内
 **フェーズ2** PoC/FSを前提とした 実用化開発支援	一気通貫型：1億円以内 補助率 2/3 連結型　：5,000万円以内 補助率 2/3 （ステージゲート審査のみ）	研究開発課題に対して、 概念実証や実現可能性調査を完了している スタートアップ等	原則 2年以内

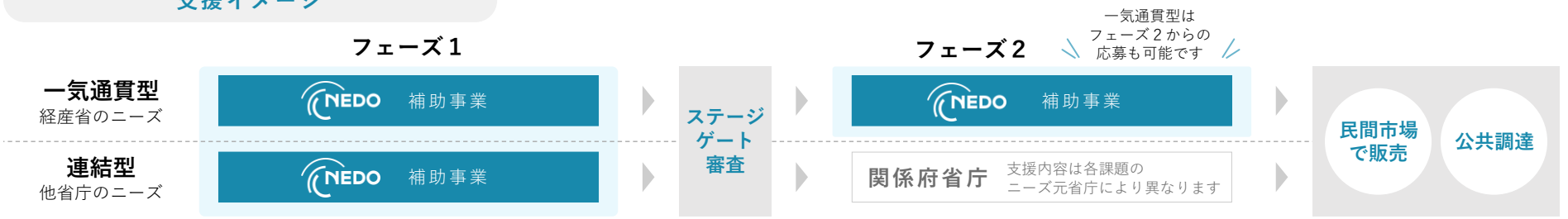
司令塔
内閣府 Cabinet Office

ニーズ元省庁
総務省 Ministry of Internal Affairs and Communications
文部科学省
厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
農林水産省
経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
国土交通省
環境省 Ministry of the Environment
防衛装備庁

執行機関
NEDO
JST
農研機構 NARO

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
SBIR

支援イメージ



研究開発課題一覧

✓ **公募ページから、研究開発課題の詳細や解説動画をご覧いただけます。**

区分	No	ニーズ元	フェーズ1	フェーズ2	分野タグ	研究開発課題	公募ページ
公募終了 一気通貫型	1	経産省	NEDO	NEDO	＃福祉	高齢者及び障害者の自立支援や介護者の負担軽減・生産性向上等に資する福祉機器の開発	
	2	経産省	NEDO	NEDO	＃宇宙	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発	
	3	経産省	NEDO	ー	＃製造	マテリアルズ・インフォマティクス(MI)を活用した合金精製技術の開発	
	4	経産省	NEDO	NEDO	＃製造	汎用ロボットハンドコントロール技術の研究開発	
公募終了 連結型	1	総務省	NEDO	総務省	＃通信	Beyond 5Gの実現、同技術を活用したサービスの社会実装・市場展開を見据えた研究開発	
	2	厚労省	NEDO	厚労省	＃福祉	障害者の自立や社会参加を促進する汎用的な支援機器の開発	
	3	農水省	NEDO	農水省	＃食品	中小食品工場向け生産性向上に資するスマート化技術の開発	
	5	国交省	NEDO	国交省	＃海事	海事分野のDX推進、生産性向上、労働負担軽減、安全・安心の確保等に資する研究開発	
	6	国交省	NEDO	国交省	＃海事	GX推進・脱炭素をはじめとした海事分野の環境課題の解決に資する研究開発	
	7	環境省	NEDO	環境省	＃環境	AI×資源循環DXによる廃棄物処理技術の開発	
	8	環境省	NEDO	環境省	＃環境	ブルーカーボンの吸収源対策に資する技術の開発	
	9	環境省	NEDO	環境省	＃環境 ＃宇宙	衛星観測データを活用した環境課題解決に資する技術の開発	
	10	環境省	NEDO	環境省	＃環境	気候変動適応に資する早期警戒システム技術の開発	
	11	警察庁 消防庁	NEDO	NEDO	＃防災	地中の埋設物や要救助者の探索に資する次世代防災・救助支援技術の開発	
	12	消防庁	NEDO	NEDO	＃防災	次世代消化技術の研究開発	

起業前の個人 / スタートアップ / 中小企業 / 大学・研究機関

2026年度公募の詳細は以下よりご確認ください。

脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

※2026年度公募より一部フェーズにおいて補助対象費用の上限額や事業期間等の変更を行いました。

詳細ページ

2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術開発を支援し、省エネルギー型経済社会構築・産業競争力強化をめざすプログラムです。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

	フェーズ	補助対象費用 ※補助対象費用×補助率＝補助金額		対象者	事業期間
個別課題推進スキーム	FS調査フェーズ	1,000万円以内/年	補助率 3/4	日本国内に研究開発拠点を有している企業、大学等の法人 ※ 大学等の単独提案は不可	1年以内
	インキュベーション研究開発フェーズ	2,000万円以内/年	補助率 2/3（1/2）※		2年以内
	実用化開発フェーズ	5億円以内/年 （2025年度公募までは3億円以内/年）	補助率 2/3（1/2）※		5年以内
	実証開発フェーズ	10億円以内/年 （2025年度公募までは5億円以内/年）	補助率 1/2（1/3）※		3年以内
重点課題推進スキーム	フェーズⅠ	10億円以内/年	補助率 2/3		5年以内
	フェーズⅡ	10億円以内/年	補助率 1/2		3年以内 （2025年度公募までは5年以内）

※ 応募者が大企業の場合は、低い方の補助率となります。

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム

重要技術

✓ **以下の重要技術に該当する技術開発を支援。**

✓ **応募の際には省エネルギー効果量の算出が必要（エネルギー使用量の削減に寄与しない技術は対象外）。**

エネルギー転換・供給

次世代電力供給
- 低炭素化・脱炭素化を実現する発電技術
- 次世代電力流通技術
- 再生可能エネルギー関連技術

再生可能エネルギーの有効利用
- 供給側の調整力
- 需要側の調整力

次世代エネルギーインフラ技術
- 熱輸送技術
- 水素等関連技術等

産業

高効率製造プロセス

業種別
- 革新的化学品製造技術
- 革新的半導体製造技術
- 革新的製鉄技術
- 革新的セメント製造技術
- 革新的自動車製造技術
- 革新的ガラス製造技術

用途・手段別
- 革新的加工技術
- 革新的熱利用製造技術

家庭・業務

ZEB・ZEH・LCCMプロセス
- ZEB・ZEH関連技術

情報機器・システム運用効率化プロセス
- 省エネ型データセンター・ICT機器

運輸

次世代自動車システム
- 次世代自動車等（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）

ITS・スマート物流システム
- 次世代自動車インフラ
- スマート物流システム
- 高度道路交通システム（ITS）

次世代航空・船舶・鉄道
- 次世代航空・船舶・鉄道技術

部門横断

未利用熱の循環利用、熱エネルギーシステム技術の高度化、ヒートポンプ高度化技術、エネルギーマネジメント技術、パワーエレクトロニクス技術、複合材料・セラミックス製造技術

一次エネルギー供給から最終エネルギー消費まで

算出方法

省エネルギー効果量

重点課題推進スキームは2040年度時点で10万kL/年以上（原油換算値、国内）が要件

＝

指標A
単位当たりの省エネルギー効果量

当該技術開発の成果物１つ当たりのエネルギー削減量
（成果物：省エネ製品、材料、プロセス、システム等）

×

指標B
2040年度時点の市場導入(普及)量

事業化シナリオに基づく
2040年度時点での市場ストック量に相当

※ 上記算出が困難な場合は、「エネルギー削減率」＆「全体のエネルギー消費量」を用いた算出も可能。
※ 非化石燃料への転換を含む提案の場合、単位当たりの非化石使用量を指標Aに含む。

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

詳細ページ

中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業化支援を行います。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

制度	フェーズ	補助金額	補助率	事業期間	応募要件
新エネ中小・スタートアップ支援制度	フェーズA（FS） 社会課題解決枠 / 新市場開拓枠	1,000万円以内	8/10	1年以内	中小企業
	フェーズα（FS） 社会課題解決枠 / 新市場開拓枠	1,000万円以内	2/3	1年以内	中小企業
	フェーズB（基盤研究） 社会課題解決枠 / 新市場開拓枠	5,000万円以内	8/10	2年以内	中小企業
	フェーズβ（基盤研究） 社会課題解決枠 / 新市場開拓枠	7,000万円以内	2/3	2年以内	中小企業
	フェーズC（実用化研究開発）	1.5億円以内	2/3	2年以内	中小企業
未来型新エネ実証制度	未来型新エネ実証制度（事業化実証研究開発）	事前準備：2,000万円以内	大企業 ：1/2 中小企業：2/3	事前準備：1年以内	中小企業 大企業
		実証 ： 3億円以内	大企業 ：1/2 中小企業：2/3	実証：3年以内	

社会課題解決枠 … 実施体制に学術機関等が入っていること ＋ 「公募の対象となる研究開発課題一覧表」に掲げる課題の解決に資する技術シーズを有していることが条件

新市場開拓枠 … 提案に関してVCからの出資を得ていること（or 得る予定であること）が条件

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業

新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業

新エネ中小・スタートアップ支援制度

✓ **今後の再生可能エネルギー導入普及に向けて、研究開発段階から事業化段階までの一貫した支援を行う。**

社会ニーズ等
潜在的技術シーズの発掘、広い間口による技術開発支援

外部有識者
事業化に向けたフォローアップ

成果報告等
成果報告に関する発表機会の創出

NEDO

研究開発から事業化に結びつけるための支援

- アドバイザリー支援
- 資金獲得等に向けた機会の提供
- 広報宣伝活動支援
- 中小企業技術革新制度(SBIR制度)による支援

事業化

応募要件

制度	応募要件 詳細
新エネ中小・スタートアップ支援制度	■社会課題解決枠フェーズA 課題一覧表に掲げるテーマであること。／共同研究先として、学術機関等を実施体制に加えること。 ■社会課題解決枠フェーズB 課題一覧表に掲げるテーマであること。／実施体制に学術機関等を含むこと。（外部からの指導・協力者など） ■フェーズC 課題一覧表に掲げるテーマであること。／事業期間終了後3年以内での事業化を達成可能とする、具体的な内容であること。 ■ 新市場開拓枠フェーズ α VC等から、本提案に関して出資を検討する旨の意向確認が得られていること。 ■ 新市場開拓枠フェーズ β VC等から、本提案に関して出資を得ていること。
未来型新エネ実証制度	• 事業期間終了後 1 年以内での事業化を目指す具体的な内容であること。 • NEDOが設定する課題に合致するテーマであること。 • 地域共生・地元合意が必要な案件については、実証研究開発実施前に、地元合意を形成

技術開発に対する補助金支援 ： スタートアップ支援事業
PoP・GX_PoP

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業 ／ PoP（Proof of Product）
GX分野の大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／GX_PoP

詳細ページ

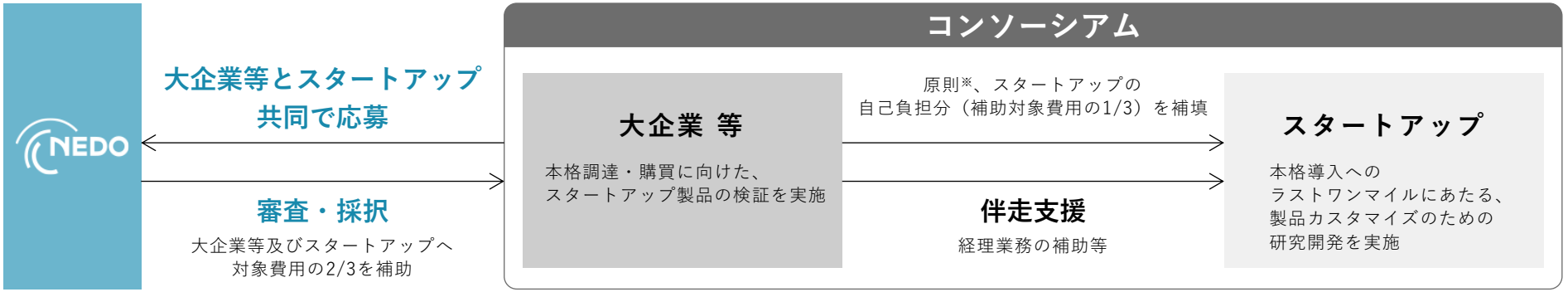
ディープテック・スタートアップと、その製品等の調達・購買を希望する大企業等を対象に、本格的な調達・購買に至るための製品カスタマイズや製品導入検証を支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ **試作品の開発** ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

対象者	補助金額	事業期間
革新的な技術の研究開発に取り組んでいる ディープテック・スタートアップと、 その製品・サービスの調達・購買を希望する大企業等。	**1億円以内/件**　補助率 2/3 補助対象費用全体のうち、70%以上は スタートアップの費用であることが必要	1年程度

10月13日に公募予告を掲載

事業概要



※ スタートアップ側による辞退の意向がある場合は除く

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業 ／ CPP（Corporate Partnerships Program）
GX分野の大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／GX_CPP

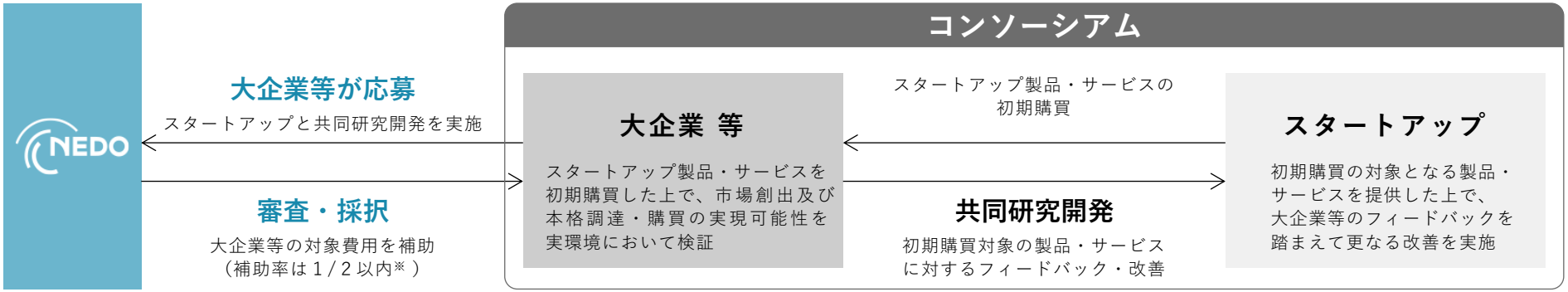
詳細ページ

市場導入を見据えたスタートアップ製品等の本格調達・購買の実現可能性を検証するための実環境での実証、研究開発を支援します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ **商用化の実現** ▶ **市場開拓**

対象者	補助金額	事業期間
革新的な技術の研究開発に取り組んでいるディープテック・スタートアップと共同研究開発を行い、製品・サービスの調達・購買を希望する大企業等。	**10億円以内/件**　補助率 **1/2以内**	1～3年程度

事業概要



※ 初期購買対象の製品・サービスについては、現状の価格と事業終了後に購買する際の価格差を元に補助率を設定。
その他の経費は1/2の補助率を設定。

事業概要

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

事業会社連携、人材育成等

スタートアップ支援

P.04－29

起業前の個人 / スタートアップ / 中小企業 / 大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発へ支援を行い、イノベーションを促進します。



技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

P.30－40

民間企業 / 大学・研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。



エコシステム形成

P.42－56

スタートアップ / 事業会社 / VC 支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、再生医療等製品に係る開発は除く。

支援内容

	コース		交付先 民間企業	交付先 大学・研究機関	概要	ページ
産学連携を通じた技術シーズの発掘・育成	官民による若手研究者発掘支援事業	マッチングフェーズ	-	●	目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援します。	P.32
		共同研究フェーズ	-	●		
		共同研究フェーズ 企業人材博士課程派遣型	●	-		
		契約学科型	-	●	企業が資金及び人的資源の提供等を通じて、大学等の研究に主体的に参画し、学位プログラムを大学等と協力して設置・運営する（契約学科）ことで、産学連携による目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施しつつ、産学連携を志向する若手人材もあわせて育成する枠組みについて支援します。	
	科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業	国家戦略技術領域研究 地域産業技術領域研究		●	大学等と産業界が連携して実施する社会実装を見据えた研究開発を支援することにより、ディープテック・スタートアップの創出の拡大・創出に繋がる環境整備、産学連携のすそ野の拡大を推進し、大学等を中心として科学技術・資金・人材が集結・循環する産学連携拠点の形成を目的として実施します。	P.34
	NEDO先導研究プログラム	エネルギー・環境新技術先導研究プログラム	● 産学連携体制		脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、将来の国家プロジェクト等につなげていきます。	P.36
		エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発	● 産学連携体制／大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究			
		新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム	● 産学連携体制			
		フロンティア育成事業	● 産学連携体制、民間企業のみ、大学・公的研究機関等のみ			
		未踏チャレンジ	● 産学連携体制／大学・公的研究機関等のみ			
	NEDO懸賞金活用型プログラム（NEDO Challenge）		●	●	技術課題や社会課題の解決に資するシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募るプログラム。	P.38

官民による若手研究者発掘支援事業

詳細ページ

**目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、
実用化に向けた産学連携体制での研究開発の実施を支援します。**

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 **マッチングサポートフェーズ**	**1,000万円以内**	若手研究者 （事業開始年度の4/1時点） 条件①：大学等に所属 条件②：博士号の学位の取得者 条件③：45歳未満	2年以内
 **共同研究フェーズ**	**3,000万円以内/年**		3年以内
 **共同研究フェーズ** **企業人材博士課程派遣型**	**500万円以内/年** 若手研究者が所属する企業が本テーマの実施にあたり支出する経費の1/2	若手研究者 （事業開始年度の4/1時点） 条件①：事業を実施する大学等の若手研究者と共同研究等を実施する企業に在籍 条件②：45歳未満	3年以内
 **契約学科型**	**1億円以内/年**	大学等（大学、高等専門学校）	6年以内

官民による若手研究者発掘支援事業

事業紹介

マッチングサポートフェーズ

1,000万円以内 最大２年間

大学等に所属し、産業界が期待する目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施する若手研究者に対し、企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援を行う。



共同研究フェーズ

3,000万円以内/年 最大3年間

大学等に所属する若手研究者が企業と共同研究等の実施に係る合意書を締結し、企業から大学等に対して共同研究等費が支払われることを条件として、実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を実施するものについて補助。

共同研究フェーズ 企業人材博士課程派遣型

500万円以内/年 最大3年間

企業と大学等が共同研究フェーズにおいて補助事業を実施している場合に、企業に所属する若手研究者が大学等の博士（後期）課程に入学し、共同研究フェーズでの事業成果の実用化が加速すると考えられるテーマで研究開発を行うものについて補助。

契約学科型

1億円以内/年 最大6年間

企業が大学等と協力して学位プログラムを設置・運営し研究開発を行う取組について支援。

ディープテック・スタートアップ支援基金事業／科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業

詳細ページ

大学等と産業界が連携して実施する社会実装を見据えた研究開発を支援することで、ディープテック・スタートアップの創出拡大・創出に繋がる環境整備、産学連携の拡大を推進し、大学等を中心として科学技術・資金・人材が集結・循環する産学連携拠点の形成を目指します。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 **国家戦略技術領域研究** 国家戦略技術領域において大学等が実施する研究開発を支援。	最大 **25億円**	大学等（大学・高等専門学校）	3年以内
 **地域産業技術領域研究** 地域の産業・大学等の特性を生かした領域において大学等が実施する研究開発を支援。	最大 **10億円**		

NEDO先導研究プログラム

詳細ページ

脱炭素社会の実現や新規分野でのイノベーションの創出に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究やスタートアップの創出等につなげていくことを目的とします。

技術シーズの開発研究 ▶ 初期構想の発想・検討 ▶ 試作品の開発 ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

プログラム	委託金額	実施体制	事業期間
 **エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）**	1年目 ： 1億円以内 2･3年目：5,000万円以内	産学連携体制 ※ 大学・公的研究機関等のみは不可	3年以内
 **エネルギー･環境分野における革新的技術の国際共同研究開発**	1年目 ：2,500万円以内 2･3年目：5,000万円以内 4年目 ：2,500万円以内	産学連携体制／大学・公的研究機関等による海外機関との共同研究	3年以内
 **新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム（新新）**	1年目 ： 1億円以内 2･3年目：5,000万円以内	産学連携体制 ※ 大学・公的研究機関等のみは不可	3年以内
 **フロンティア育成事業**	技術やTRL等に応じ事業規模を公募課題ごとに柔軟に設定	産学連携体制、民間企業のみ、大学・公的研究機関等のみ（事業化に向けた体制構築に取り組むことが条件）	技術やTRL等に応じ実施期間を公募課題ごとに柔軟に設定
 **未踏チャレンジ**	500～2,000万円以内/年	産学連携体制／大学・公的研究機関等のみ	5年以内

技術開発に対する補助金支援 ： 技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援
NEDO先導研究プログラム

事業構成

NEDO先導研究プログラム

新技術・先導研究プログラム

プログラム	実用化・社会実装のタイミング	対象となる技術	その他
 **エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）**	2040年以降	脱炭素社会の実現に資する革新技術	
 **エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発**	2040年以降	脱炭素社会の実現に資する革新技術	• 上記事業（エネ環）の国際共同研究を行う事業 • 我が国大学・公的研究機関等が諸外国の研究機関等との間で連携・協力して実施
 **新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム（新新）**	事業開始後15～20年以上先	脱炭素社会の実現に資する技術に限らない、新産業創出に向けた革新技術	・2026年度以降、公募は実施しない
 **フロンティア育成事業**	2040年以降	脱炭素社会の実現と新産業の創出を目指した、将来的に高い成長が期待される フロンティア領域における技術	フロンティア領域とは、将来的なポテンシャルが大きい一方で、技術開発や市場の不確実性といったリスクの高さ、巨額の研究開発設備投資の必要性などの理由で、国としては重点投資していきたいにも関わらず、個社だけでは投資が進みにくい領域
 **未踏チャレンジ**	事業開始後30年以上先	温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現する技術	-

位置づけイメージ



民間企業 大学・研究機関

NEDO Challenge

NEDO懸賞金活用型プログラム ／ NEDO Challenge

詳細ページ

**技術課題や社会課題の解決に資するシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募るプログラム“NEDO Challenge”。
多くの応募を促し、革新的なシーズをいち早く発掘し、共同研究等に繋げることを目指します。**

技術シーズの開発研究 ▶ **初期構想の発想・検討** ▶ **試作品の開発** ▶ 商用化の実現 ▶ 市場開拓

- **懸賞広告**
- 研究開発期間（非金銭的支援の提供）
- **応募**
- **成果を周知する機会（コンテスト）**
- **懸賞金の交付**
- **共同研究等**

- ✓ 懸賞広告（設定された課題に関する研究開発期間、成果の目標水準、懸賞金額、競技ルール等）を公表。
- ✓ 研究開発期間中の非金銭的支援（伴走支援、ネットワーク構築、追加支援他）等により、研究開発を促進し、成果を最大化。
- ✓ 目標を達成する、多様で、多くの成果の提出。
- ✓ シーズのユーザーとの連携機会の創出等の共同研究等の実現に向けた支援等実施。
- ✓ 応募者の成果を審査して順位を決め、上位数者に懸賞金を交付。

技術開発に対する補助金支援 ： 技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援
NEDO懸賞金活用型プログラム

NEDO Challenge

懸賞広告で掲げる課題

課題設定年度	課題	コンテスト	詳細
2024年度	量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発	NEDO Challenge, Quantum Computing “Solve Social Issues!”	特設サイト
2025年度	地域の人手不足解消に資するロボット技術の開発	NEDO Challenge, Robot Solutions for Manufacturing	特設サイト
	空港グランドハンドリング作業の生産性向上に向けた技術開発（手荷物積付）	NEDO Challenge, Baggage-Loading Robot	特設サイト
	脳由来信号を活用した新システムの開発	NEDO Challenge, Exploring Neurotech New Markets	特設サイト
	広範囲な浅海における短時間計測・観測システムの開発	NEDO Challenge for BLUE ECONOMY	特設 サイト
	化粧品産業の持続可能性に係る問題解決に向けた研究開発	NEDO Challenge, Beauty Visionary Awards	特設サイト
	衛星データを活用したソリューション開発	NEDO Challenge, Satellite Data -衛星データで革新する未来の都市インフラ-	特設サイト

NEDO Challenge

懸賞広告で掲げる課題

課題設定年度	課題	コンテスト	詳細
2026年度	個別産業の社会課題解決に資するAIエージェント開発	GENIAC-PRIZE 2026	特設サイト
	開発者育成（学生）のための公開型の基盤モデル開発	GENIAC-PRIZE 2026	特設サイト
	量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発 2	NEDO Challenge, Quantum Computing “Solve Social Issues!” Season 2	特設サイト
	緊急対応ロボット技術展開チャレンジ	―	―
	新たなサイバーセキュリティの技術	―	―
	量子計算時代のブロックチェーンシステムの安全性確保技術	―	―

事業概要

シーズ発掘から事業化まで、フェーズ・領域に応じて網羅的・シームレスな事業支援を行っています。

技術開発に対する補助金支援

事業会社連携、人材育成等

スタートアップ支援

P.04－29

起業前の個人 / スタートアップ / 中小企業 / 大学・研究機関

長期の研究開発と大規模な資金を要するディープテック・スタートアップの研究開発へ支援を行い、イノベーションを促進します。



技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援

P.30－40

民間企業 / 大学・研究機関

新産業創出に貢献する革新的な技術シーズの発掘・育成を行う産学連携体制を支援します。



エコシステム形成

P.42－56

スタートアップ / 事業会社 / VC 支援者等

研究開発の成果を最大限に活用するため、支援人材の育成や事業会社との連携支援を行っています。



支援対象分野

経済産業省所管の鉱工業技術（例えば、ロボティクス、AI、エレクトロニクス、IoT、クリーンテクノロジー、素材、ライフサイエンス、バイオテクノロジー技術、航空宇宙等）に係る研究開発を行うもの。ただし、原子力技術に係るものは除く。また、一部事業では、医薬品として医薬品医療機器総合機構（PMDA）の審査・承認を受けることを前提としたものや、再生医療等製品に係る開発は除く。

支援内容

	コース	対象者等 スタートアップ	対象者等 大企業	対象者等 VC支援者等	概要	ページ
人材支援	**研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 ／ NEDO SSA**	-	-	●	研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる人材の育成を行うプログラム。	P.44
人材支援	**大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事 ／ MPM**	-	-	●	経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スタートアップとのマッチングを行うための取組を支援。	P.46
人材支援	**大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】**	-	-	●	調達を見据えた大企業等とスタートアップ間の連携を強化し、大企業等の経営課題の解決に取り組むスタートアップの取組を後押し。	P.48
人材支援	**事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】**	-	-	●	事業会社が保有する革新技術を活用した「スタートアップ創出型カーブアウト」の加速・促進に向けて、導入に向けて支援。	P.49
人材支援	**海外研究者招へい事業（STeP JAPAN / Science and Technology Fellowship Program for JAPAN）**	●	●	-	海外の研究者を招へいして共同研究をする国内の民間企業を対象に、招へい研究者の滞在費や渡航費等を支給。	P.52
マッチング支援	**オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 ／ JOIC**	●	●	-	オープンイノベーションの推進とベンチャー宣言の実現を通じ、産業のイノベーション創出と競争力強化を目的に設立された組織。	P.50
マッチング支援	**JOIC-OIA（JOIC Open-Innovation Acceleration Academy）**		●	●	オープンイノベーションを自ら構想し、事業として実装まで導くことのできる人材の育成を行うプログラム	P.51
マッチング支援	**J-Startup**	●	-	-	経済産業省・JETRO・NEDOの3機関が事務局となり、選定されたスタートアップの国内・海外展開、広報活動等を支援。	P.53
マッチング支援	**NEDOデスク**	●	-	-	全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じNEDOの支援策を説明、地域行事やイベントでNEDOの活動を紹介。	P.54
マッチング支援	**Kawasaki-NEDO Innovation Center ／ K-NIC**	●	-	-	NEDO/川崎市/公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により、研究開発型スタートアップと起業家の発掘から支援までを行う支援拠点。	P.55
マッチング支援	**Plus（Platform for unified support for startups）**	●	-	-	政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ相談窓口。	P.56

研究開発型スタートアップ支援人材の養成に係る特別講座 ／ NEDO SSA（NEDO Startup Supporters Academy）

詳細ページ

広い知見や専門性を持って、研究開発型スタートアップの成長を伴走支援できる人材の育成を行うプログラムです。

対象者	対象者例
研究開発型スタートアップの現場支援者またはその候補者	✓ 全国大学の産学連携・知財本部等のシーズの社会実装や事業化に従事もしくは関心のある関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員、ポスドク等 ✓ イノベーション・モノづくり支援等を担う自治体部局や公的産業支援機関の担当職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター ✓ 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピンオフベンチャー創出、CVC活動等、スタートアップ支援に関する専門性・キャリアを高めたい関係部局の担当者 ✓ VC等で、各地の研究機関や公的機関と連携し、シード段階から積極的に技術の目利きや掘り起こしを行い、研究開発型SU等の個社支援やハンズオン支援のスキル習得、専門性を志向するキャピタリスト



受講要件等

✓ **日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、広い知見や専門性を持って客観的視点から先端の研究開発型スタートアップの発掘・成長までを伴走支援できる「支援人材」を募集し、育成します。**

受講要件等	定員	20名程度
	募集	2027年度募集については未定
	参加費	無料（ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担）

事業会社連携、人材育成等 ： エコシステム形成
NEDO SSA

受講の流れ

- ✓ **研究開発型スタートアップの創出や支援に必要なマインドセットや、知識・スキルに関する講義やワークショップ、起業家の“生”の支援現場を体感するOJT、支援者ネットワークの構築等、充実したプログラムを提供します。**
- ✓ **NEDOは、SSAを通じて研究開発型スタートアップ支援の中核的役割を担う支援人材を育成・輩出を目指します。**

研修実施

第１回研修（2日程度）
ディープテック分野とその支援の特性、技術成熟度（TRL）・事業成熟度（ARL）の二軸による事業化段階の見立て、研究開発型スタートアップの事業計画の分析、支援対象との初回面談の方法論、知財の取り扱い、NEDO制度の全体像等について、座学やディスカッション、ワークショップ等で学んでいただきます。

第2回研修（2日程度）
検証した事業価値を、NEPやVC等の資金提供者の評価軸に乗せて伝える「翻訳」の素地を作ります。資金調達の基本、NEP・VCそれぞれの評価軸に向けたワークと発表・フィードバック等に取り組んでいただきます。

第3回研修（1日程度）
NEDOの主要なスタートアップ支援制度について、体系的に把握します。この他、JST・AMED等との組み合わせを含む制度活用ケースや、国内外の支援制度を講義形式で俯瞰的に学んでいただきます。

第４回研修（1泊2日）
地域のスタートアップ・エコシステムの発展過程や、構築・連携に向けた取り組みを学び、いかにして当該エコシステムに貢献できるかについて考察していただきます。関連機関の講義や拠点施設の見学を予定しています。

その他研修（3ヵ月間程度のうち4日程度）
スタートアップに対するメンタリングの参加・視聴やスタートアップピッチイベント等に参加し、研究開発型スタートアップに対する支援の現場を体験して頂きます。

第５回研修（合宿形式/2泊3日）
合宿形式で、実際の研究シーズ元を招聘したメンタリング実践に取り組みます。ここまでの研修で習得した知見を総合し、実際の事例ワークを通じて、実践的なスキルを養成します。あわせて、（6）その他実施内容に関する振り返り、修了に向けた報告会・修了式を実施します。

修了証書授与　プログラム修了後、所定の審査を経て修了証を発行します。

事業会社連携、人材育成等 ： エコシステム形成
MPM

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 ／ MPM（Management Personnel Matching program）

詳細ページ

VC等が経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スタートアップとのマッチングを行うための取組を支援します。

対象者	委託金額	事業期間
経営人材とマッチングした大学発スタートアップの成長のために積極的に関わるVC等事業者。 ※ 大学等や大学発スタートアップが直接応募できる事業ではありません。	**8,000万円以内/件**（※1） 事業者：3～5社程度（※1） 加速枠（※2）も募集。 （※1）2026度は「イグニッションチーム」の構成（任意）に適切に実施できることが確認できた場合は、1億円以内/件。詳細情報は公募情報でご確認ください。 （※2）2024年度採択者及び2023度採択者における加速枠未実施者 が対象。	1.5年程度



対象経費

本業務を実施する際に必要な労務費、及びその他経費、間接経費、再委託費を計上することができます。（研究開発費は対象外）
ただし、実施期間中に経営人材一人あたりに支払える労務費等は「700万円以内」です。

2025年採択企業	• ＜一般枠＞：ANRI株式会社、株式会社イードア、株式会社スタートアップクラス、株式会社ディープコア パーソルキャリア株式会社、ReGACY Innovation Group株式会社　※加速枠は、2025年度末で終了
2026年採択企業	• ＜一般枠＞：Archetype Ventures合同会社、STATION Ai株式会社 • ＜加速枠＞：upto4株式会社、株式会社エル・ティー・エス、株式会社ケイエスピー、株式会社リバネス

事業会社連携、人材育成等 ： エコシステム形成
MPM

採択事業者に求められる主な実施内容



経営人材の発掘・育成

発掘・獲得

経営人材としてのターゲット層の絞り込みや
条件定義を行った上で、事業者独自の手法で
発掘・獲得を実施。

育成

大学発スタートアップの成長において経営人材に
必要な知識や経験等の「質」を定義・確認した
上で、教育・研修プログラム等を企画、実施。

マッチング機会創出

出会い　関係構築　意思決定

経営人材が大学発スタートアップとイベントや
個別紹介等で「出会い」、具体的な伴走支援等に
ついて双方が双方を理解し合い「関係構築」し、
スタートアップの成長を一緒に担い
スタートアップの設立もしくは経営への参画等の
「意思決定」に至るまでを支援。

※ KPIは、マッチング創出数や
大学発スタートアップ参画数等

経営人材として経営参画するための環境整備

維持・確保

経営人材が活躍するための
経営参画条件（給与等の参画形態や
業務管理、社会保障等）や知的財産、
株式等の取扱含む規則等の整備。

活躍の評価

経営人材のマッチングが
大学発スタートアップの成長へ
与える効果についての中長期的な
時間軸（業務期間中、終了時点、
その後等）での評価。

事業会社連携、人材育成等 ： エコシステム形成

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業【実証事業】

大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業／HiP（Hypothetical-issue identification and Partnering）（2025年度【実証事業】）

詳細ページ

大企業等によるスタートアップ調達・購買の加速化と持続的な連携の促進や
両者を含むエコシステムの活性化に向けて、
受託者による試行錯誤を含めたマッチングプログラムの実証を行います。

事業概要



✓ **大企業等の課題やより潜在的・本質的なニーズを深掘り、事業テーマとして整理を行い、その事業テーマと合ったスタートアップの探索や交渉、調整さらに大企業等の意思決定等の各プロセスについて、受託者による試行錯誤を含めたマッチングプログラムを実証することを目的として実施します。**

実証事業

社内体制整備 ▶ **課題特定** ▶ **スタートアップ** ▶ **初期購買・検証** ▶ 本格的なPoCや共同研究開発他の需要創出に向けたスタートアップとの共同の取組み ▶ 需要創出（新規事業創出、生産性向上）

2026年　広報・周知イベント（詳細情報はJOICホームページにてご確認ください）

セミナー　11/12（木）広がる！スタートアップ連携の支援の場　～金融機関が後押しする、事業会社の調達・購買の第一歩～

事業会社連携、人材育成等 ： エコシステム形成
カーブアウト促進事業

事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業【実証事業】

詳細ページ

事業会社が保有する革新的な技術等を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップを創出する「スタートアップ創出型カーブアウト」の加速・促進に向けて、導入に向けて支援します。

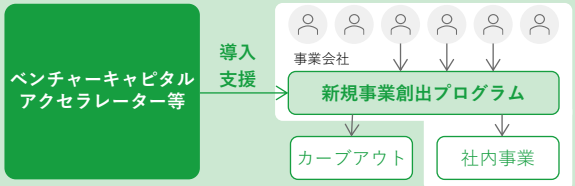
対象者	委託金額	事業期間
ベンチャーキャピタル、アクセラレーター等	**6,000万円以内/件**（※1） 事業者：5程度（※1） 加速枠(※2)も募集。 (※1)2026度の詳細情報は公募情報でご確認ください。 (※2)2024年度本事業の「【2】実証事業」採択者 が対象。	NEDO指定日から 1.5年程度



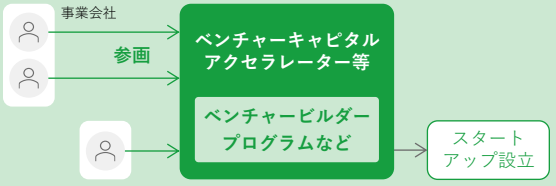
事業概要

✓ **カーブアウトによるディープテック・スタートアップの創出等を、以下の2パターンにて実証します。**

事業会社において実施する
パートナー型プログラム



複数の事業会社から起業家人材を募り実施する
マルチプル型プログラム



2026年採択企業

＜一般枠＞
- 株式会社Monozukuri Ventures Holdings

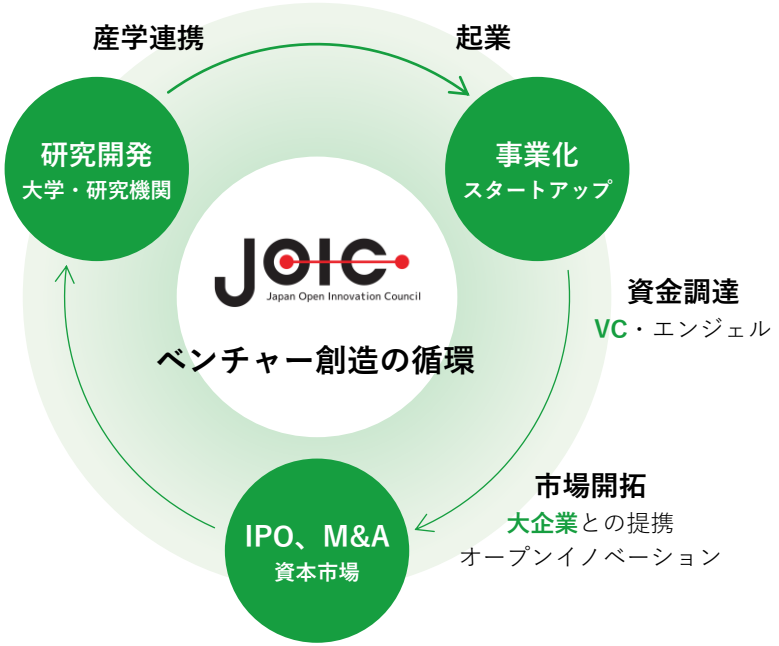
＜加速枠＞
- 株式会社eiicon
- 株式会社ゼロワンブースター
- デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社
- ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社

オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 ／ JOIC（Japan Open Innovation Council）

詳細ページ

民間事業者の「オープンイノベーション」の取組を推進するとともに、「ベンチャー宣言」を実現することにより、我が国産業のイノベーションの創出及び競争力の強化に寄与することを目的として設立された組織です。

オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会



オープンイノベーションの機会創出

その他イベントも随時開催！

ピッチイベント

- NEDOピッチ（アグリテック、ロボティクス等、各回テーマを設定）※
- NEDOプライベートピッチ（事業会社1社に対して実施するイベント）※※

その他支援

- ディープテック・スタートアップに対するプッシュ型伴走支援　※
- ディープテック・スタートアップに関する情報提供

※NEDO事業修了者を中心に実施
※※JOIC会員事業会社向け


▲ NEDOピッチの様子

オープンイノベーションの実行に関わる研修

ワークショップ（JOIC-OIA）2026年実施予定内容（詳細は次頁以降）

- DAY1：イノベーション戦略の策定
- DAY2：SU探索と共創仮説の構築（アイディエーション）
（DAY 2 にて提示する課題の対応及びフォローアップ期間）
- DAY3：推進体制・ビジネスモデルの構築
- DAY 4 ：リバースピッチ

JOIC-OIA（JOIC Open-Innovation Acceleration Academy）

詳細ページ
作成中

**オープンイノベーションを自ら構想し、
事業として実装まで導くことのできる人材の育成を行うプログラムです。**

対象者	対象者例
大企業の中で共創を目的とする新規事業等の担当者	✓ 事業会社の新規事業開発・事業創造部門において、自社の新規事業テーマを担当し、スタートアップとの共創によって事業の立ち上げを目指すリーダー・担当者 ✓ オープンイノベーション推進・共創推進部門にて、スタートアップとの連携窓口や社内制度の設計・運用を担う担当者 ✓ 研究開発・技術戦略部門において、自社の技術シーズと外部技術の掛け合わせや、ベンチャークライアントとしてのスタートアップ技術の調達・実装を検討する研究者・技術企画担当者 ✓ 経営企画・事業戦略部門にて、中期経営計画上の成長領域や新規事業ポートフォリオを担い、非連続な成長の手段としてスタートアップとの共創を構想する担当者 ✓ CVC・投資部門において、財務的リターンにとどまらず、投資先との事業シナジー創出や自社への実装まで踏み込んだ共創を推進したいキャピタリスト・担当者



受講要件等

✓ **日本のオープンイノベーション推進を目的に、自社の経営・事業課題を起点として、スタートアップとの共創を自ら構想し、社内を動かし、事業としての実装まで導くことができる「共創人材」を募集し、育成します。**

受講要件	定員	10社程度　※事業会社の部署単位での応募
	募集	2027年度募集については未定
	参加費	無料（ただし、参加に係る交通費等の実費は自己負担）

海外研究者招へい事業
（STeP JAPAN / Science and Technology Fellowship Program for JAPAN）

詳細ページ

**海外の研究者を招へいして共同研究をする国内の民間企業を対象に、
招へい研究者の滞在費（最大22,000円/日）や渡航費等を支給します。**

招へい対象	応募できる企業	支給内容	招へい期間
以下条件をすべて満たす研究者 ① 受入機関において、一定期間研究できること ② 鉱工業基盤技術に関し優れた識見を有する者であって、我が国の博士号に相当する学位を有する者、又はこれと同等の研究能力を有すると認められる者 ③ 外国籍の研究者、又は外国におおむね10年以上在住の日本国籍を有し当該国の学界で活躍している研究者	**国内の民間企業** ※ 民間企業が応募者とした上で民間の基盤技術の向上に有効と認められる場合、民間企業以外の研究機関・大学等と共同研究、関連施設の利用も可能。	✓**滞在費** ・**クラスA：22,000円/日** 「優れた研究業績を有する研究者」or「高度な専門知識を有する者」 ・**クラスB：17,000円/日** 「上記以外の研究者」or「専門知識を有する者」 ✓**支度料：124,000円** ✓**渡航費、保険料、出張旅費**	最長 12か月



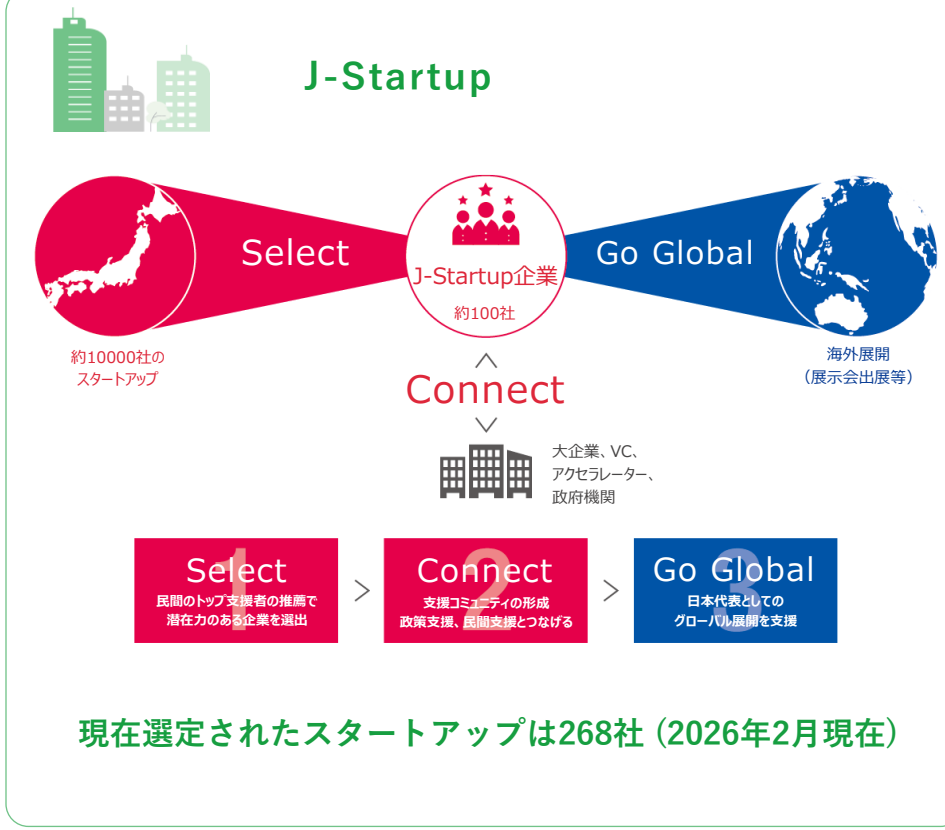
事業概要



J-Startup

詳細ページ

**経済産業省・JETRO・NEDOの3機関が事務局となり、
選定されたスタートアップの国内・海外展開、広報活動等を支援します。**



現在選定されたスタートアップは268社（2026年2月現在）

潜在力のある企業を選定

日本では約1万社のスタートアップが日々新しい挑戦をしています。
しかし、グローバルに活躍する企業はまだ一部。
世界で戦い勝てる企業を作り、世界に新しい革新を提供する。
J-Startupは選ばれた企業を官民で集中支援し、成功モデルを創出します。

「ブーム」から「カルチャー」へ。
ここで生まれたヒーローがスタートアップの地位を高め、
日本のベンチャーエコシステムをさらに強くします。

NEDOの主な支援例

J-Startup企業が下記のNEDO支援制度に応募された際は、
一定の優遇措置を受けることができます。

- ディープテック・スタートアップ支援事業(DTSU STS/PCA/DMP フェーズ)
- GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業(GX STS/PCA/DMP フェーズ)
- ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業(UPP)
- GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業(GX_UPP)
- 大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業(PoP)
- GX分野の大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業(GX PoP)

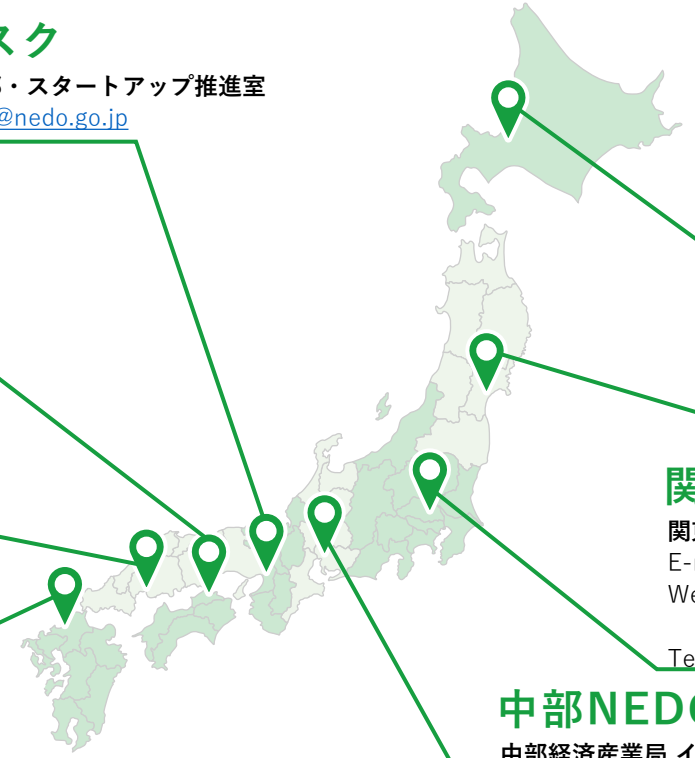
等

また、国内イベントにおける出展機会の提供も行っています。

NEDOデスク

詳細ページ

**全国の経済産業局とNEDOが連携し、技術開発に取り組む企業等からの相談に応じて
NEDO の支援策を説明するほか、地域における行事やイベントでNEDOの活動を紹介しています。**



近畿NEDOデスク

近畿経済産業局 地域経済部・スタートアップ推進室
E-mail：kansai-nedodesk@nedo.go.jp

四国NEDOデスク

四国経済産業局 新規事業推進課
E-mail：exl-nedo-shikoku@meti.go.jp
Tel　：087-811-8517

中国NEDOデスク

中国経済産業局 イノベーション推進課
E-mail：bzl-cgk-inovation@meti.go.jp
Tel　：082-224-5680

九州・沖縄NEDOデスク

九州経済産業局 産業技術革新課
E-mail：bzl-kyushu-sangisoukatsu@meti.go.jp
Web　：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/gijyutu/oshirase/260629_1.html
Tel　：092-482-5465

内閣府沖縄総合事務局 地域経済課
E-mail：bzl-oki-gijutsu@meti.go.jp
Tel　：098-866-1730

北海道NEDOデスク

北海道経済産業局 地域経済課
E-mail：bzl-hokkaido-chiikikeizai@meti.go.jp

東北NEDOデスク

東北経済産業局 産業技術革新課　Tel：022-221-4897
相談依頼　https://www.tohoku.meti.go.jp/s_sangi/nedo.html

関東NEDOデスク

関東経済産業局 産業技術革新課 総括班
E-mail：bzl-s-kanto-kakushin@meti.go.jp
Web　：https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/innov/kanto_nedo_desk.html
Tel　：048-600-0236

中部NEDOデスク

中部経済産業局 イノベーション推進課
E-mail：bzl-chubu-nedodesk@meti.go.jp
Tel　：052-951-2774

Kawasaki-NEDO Innovation Center ／ K-NIC

利用無料

詳細ページ

NEDO、川崎市、公益財団法人川崎市産業振興財団の三者連携により行う起業家支援拠点です。



成長分野における独自技術の事業化を目指す
起業家・新分野に進出するスタートアップを対象に、
各分野の専門家によるアドバイスをはじめとした
投資家向けのピッチイベントやメンバー会員同士の交流会など
さまざまな支援メニューを提供します。

おすすめの実施プログラム

- コミュニケーター面談
- 分野別相談会

起業に役立つイベント

- 資金調達・政策セミナー
- 組織作りセミナー
- 人材採用セミナー　等

イベント詳細

概要

所在地	〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL	044-201-7020
営業時間	10時～18時（最終受付17時）
休業日	土曜/日曜/祝日、年末年始（12/29-1/4）、ビル休館日

Plus（Platform for unified support for startups）

詳細ページ

2020年に創設された政府系スタートアップ支援プラットフォームです。
支援者同士の勉強会や、スタートアップの相談窓口を開設しています。

政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ窓口

Plus One

- ✓ Plusでの22機関間連携を活用し、一元的な相談体制を構築
- ✓ 受けたい支援タイプのタイプ別検索が可能

ご利用の流れ

フォームより
お問い合わせ

運営事務局
- メール、電話、オンライン面談等で相談
- 参加機関の支援メニューから最適なものをご紹介

必要に応じて
各機関へ連携

参加機関

シード期
技術シーズ創出・研究開発・人材育成支援

アーリー期
支援・ファンディング

エクスパンション期
海外展開支援

金融支援・投資

知財支援

支援策一覧

		事業名（略称）	現在の状況	公募頻度	公募情報（あくまで予定のため変更の可能性がございます）	ページ
技術開発に対する補助金支援	スタートアップ支援	NEP 開拓コース	-	1年に1回	2026年1月5日～2月24日	P.10
		NEP 新星コース	-	1年に1回	2026年2月5日～2月25日	P.12
		NEP 躍進コース	-	1年に1回	2026年3月9日～4月17日	P.14
		DTSU・GX事業	-	1年に複数回	2027年4月（予定）	P.16
		UPP事業・GX_UPP事業	公募中 (GX_UPPのみ)	1年に2回	2026年10月16日～11月17日	P.18
		国際共同研究開発事業	-	1年に1回	2026年10月頃公募開始予定	P.20
		SBIR事業	-	1年に1回	連結型：2026年3月16日～4月3日 一気通貫型：2026年5月13日～6月12日	P.22
		脱炭素省エネ事業	-	1年に1回	非化石転換を含まない提案：2026年2月9日～3月17日 非化石転換を含む提案：2026年2月9日～6月23日	P.24
		新エネシーズ事業	-	1年に2回	新エネ中小・未来型：2026年8月7日～9月7日	P.26
		大企業調達PoP・CPP	公募予告中 (PoPのみ)	1年に1回	2026年8月26日～9月30日（PoPは2026年10月13日に公募予告）	P.28
	技術シーズ発掘・育成支援	若サポ事業	-	1年に1回	2026年3月31日～2026年5月11日	P.32
		拠点形成事業	-	1年に1回	2026年3月31日～2026年5月11日	P.34
		先導研究事業	-	1年に1回	2026年1月26日～2月27日(エネ環、フロンティア育成)、2026年1月26日～3月26日(国際)、2026年2月2日～2026年4月1日(未踏)	P.36
		NEDO懸賞金事業	-	1年に複数回	「懸賞広告で掲げる課題」ページを参照	P.38
事業会社連携、人材育成等	エコシステム形成	SSA	-	1年に1回	2026年8月19日～9月7日（2027年度の募集は未定）	P.44
		MPM	-	1年に1回	2026年4月1日～4月30日	P.46
		大企業調達HiP	-			P.48
		カーブアウト促進事業	-	1回	2026年4月8日～5月11日	P.49
		JOIC-OIA	-	1年に1回	2026年8月17日～9月7日（2027年度の募集は未定）	P.51
		STeP JAPAN	-	1年に1回	2027年7月（予定）	P.52

支援先へのお問い合わせ

一般的なお問い合わせ・支援先に関するご質問

NEDOの支援先企業や制度全般に関するご質問、
どの部署に連絡すればよいか不明な場合は「Plus」をご利用ください。

担当部署が明確な場合

特定の事業やプロジェクトのお問い合わせなど、担当部署が既に決まっている場合は各部署へ直接ご連絡ください。

公式Facebook（NEDOスタートアップクラブ）

イベントや公募情報、最新の取り組みなどを発信しています。

J-Startup

外部有識者からの推薦に基づき、潜在力のある企業を選定しています。
現在、全268社選定済。

ＮＥＤＯ 2026年 テーマ公募事業一覧 (2026/11/1現在)

事業名称				対象技術分野	事業内容	対象者等	補助・委託規模(上限金額)		事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間, 参考サイト, 備考(過去採択率等)	
スタートアップ支援	ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材を募集 **ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業（NEP）**	**開拓コース**		新規性・革新性の高い技術・分野横断	ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う起業家候補人材「NEDOFront-Runner(FR)」を募集。	起業前の個人 (チ ームでも可)	活動費：上限３百万円(月額25万円/税込み) 専門家による研修：人材育成プログラム		2026年4月下旬から 2027年3月31日迄 (12か月程度)	2026年1月5日 ～2月24日	開拓コース 2023/3/20～2023/5/9 2023/12/28～2024/2/26 2025/1/6～2025/2/24	
		新星コース			九州近隣の出身・在住・事業展開を考える女性で、ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う「新星起業家候補」を募集。	起業前の個人 （チームでも可）かつ九州地域・近隣地域（中国地方、四国地方、沖縄島）に縁のある女性	活動費：上限３百万円(月額25万円/税込み) 専門家による研修：人材育成プログラム		新星運営事務局が指定する日から 2027年3月31日迄 (12か月程度を予定)	2026年2月5日～2月25日	—	—
		躍進コース	500・3000		ディープテック分野で具体的な技術シーズを活用したビジネスモデルを 有する起業家候補人材を公募	法人(応募時は個人 可。交付申請時は法 人設立)	助成率100%	500 5百万円(助成対象費用)	12ヶ月以内	2026年3月9日～4月17日	躍進コース 2023/3/20～2023/5/9 2024/3/12～2024/4/18 2025/3/3～2025/4/18	2023年度:採択28件 2024年度:採択24件 2025年度:採択31件
			カーブアウトA/B			A：ｶｰﾌﾞｱｳﾄ予定の個人・チーム B：ｶｰﾌﾞｱｳﾄした 法人	助成率3/4	A 5百万円(助成対象費用) B 3千万円(助成対象費用)				
			GX			法人(応募時は個人・チーム可。交付申請時は法人設立)	助成率100%	3千万円(助成対象費用)				
	技術の確立迄の研究開発に長期かつ大規模な資金を要し技術の事業化までに長期間を要するディープテック・スタートアップの実用化研究開発 フェーズ、量産化実証を支援 **ディープテック・スタートアップ支援事業(DTSU)**	**STSフェーズ**		新規性・革新性の 高い技術・分野横断	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発 の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発 (前期)のスタートアップ	補助率2/3以下	３億円もしくは５億円	1.5~2年程度 (ただし同一フェーズ内で 最長4年)	通年公募 第11回提案書受付期間 2027年4月（予定）	第1回 2023/5/15~5/25 第2回 2023/8/21~8/31 第3回 2023/11/27～12/7 第4回 2024/4/22～4/30 第5回 2024/7/9～7/24 第6回 2024/10/24～10/30 第7回 2025/2/25～3/5 第8回 2025/7/9～16 第9回 2025/11/26～12/3 第10回 2026/9/3～9/8	第4回：採択7件/応募35件 第5回：採択3件/応募19件 第6回：採択５件/応募30件 第7回：採択6件/応募32件 第8回：採択8件/応募44件 第9回：採択4件/応募41件（うち1件は採択後辞退）
		PCAフェーズ			試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事 業化可能性調査の実施等	実用化研究開発 (後期)のスタートアップ	補助率2/3以下	５億円もしくは10億円				第4回：採択3件/応募21件 第5回：採択4件/応募21件 第6回：採択4件/応募21件 第7回：採択7件/応募31件 第8回：採択5件/応募33件 第9回：採択3件/応募29件
		DMPフェーズ			量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るため に必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	補助率2/3以下 もしくは1/2以下	25億円				第4回：採択2件/応募5件 第5回：採択0件/応募3件 第6回：採択1件/応募3件 第7回：採択1件/応募6件 第8回：採択0件/応募8件 第9回：採択1件/応募10件
	事業を通じたCO2の排出削減と経済成長を同時 に実現するGX分野のディープテック・ スタートアップの実用化研究開発フェーズ、量 産化実証フェーズを支援 **GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業(GX)**	**STSフェーズ**		新規性・革新性の 高い技術・分野横断	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発 の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	実用化研究開発 (前期)の スタートアップ	補助率2/3以下	３億円もしくは５億円	1.5~2年程度 (ただし同一 フェーズ内で 最長4年)	通年公募 第8回提案書受付期間 2027年4月（予定）	第1回 2024/4/22～4/30 第2回 2024/7/9～7/24 第3回 2024/10/24～10/30 第4回 2025/2/25～3/5 第5回 2025/7/9～16 第6回 2025/11/26～12/3 第7回 2026/9/3～9/8	第1回：採択4件/応募17件 第2回：採択2件/応募7件 第3回：採択1件/応募12件 第4回：採択2件/応募7件 第5回：採択2件/応募12件 第6回：採択2件/応募14件
		PCAフェーズ			試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事 業化可能性調査の実施等	実用化研究開発 (後期)の スタートアップ	補助率2/3以下	５億円もしくは10億円				第1回：採択1件/応募4件 第2回：採択2件/応募4件 第3回：採択0件/応募1件 第4回：採択1件/応募3件 第5回：採択0件/応募2件 第6回：採択1件/応募2件
		DMPフェーズ			量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るため に必要な量産化実証の実施	量産化施策実証のスタートアップ	補助率2/3以下	25億円				第1回：採択0件/応募3件 第2回：採択0件/応募1件 第3回：採択0件/応募2件 第4回：採択1件/応募3件 第5回：採択0件/応募1件 第6回：採択0件/応募3件
	ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 (UPP)			産業技術分野	一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、事業開発活動(商用の設備投資やソフトウェア投資、当該投資と併せて行う、研究開発の成果の有効性等を示すためのユーザー実証等)を支援	量産化やスケールアップのための主たる技術を確立済みのスタートアップ	補助率1/2以下 又は1/3以下	30億円	3年間(最長で2028 年3月まで)	年2回程度	第1回 2025/3/18～4/21 第2回 2025/11/13～12/22	第1回 採択3件/応募4件 第2回 採択1件/応募2件
	GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業(GX_UPP)			エネルギー・環境分野	一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、事業開発活動(商用の設備投資やソフトウェア投資、当該投資と併せて行う、研究開発の成果の有効性等を示すためのユーザー実証等)を支援	量産化やスケールアップのための主たる技術を確立済みのスタートアップ	補助率1/2以下	50億円	4年間	年2回程度	第1回 2025/3/18～4/21 第2回 2025/11/13～12/22 第3回 2026/10/16～11/17	第1回 採択1件/応募1件 第2回 採択1件/応募2件
	海外の事業者との共同研究開発を希望するディープテック・スタート アップに対し、当該国際共同研究開発を支援 **国際共同研究開発**			新規性・革新性の高い技術・分野横断	ディープテック・スタートアップが海外企業と行う共同研究開発に対し、ＮＥＤＯと相手国側の研究開発・イノベーション支援機関(公的支援機関)が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部を助成します。(相手国側企業も当該国の公的支援機関の公募に応募する必要があります。)	研究開発型スタートアップ 未上場の中小企業	助成率2/3以内	1億円/件	原則として 2年～3年	2026年度公募 2026年10月7日～2027年1月20日	2023年度 2023年10月23日～2024年1月31日 2024年度 2024年9月9日～12月4日 2025年度 2025年10月14日～2026年1月21日	2023年度:採択3件/応募18件 2024年度:採択4件/応募23件 2025年度:採択8件/応募54件

	事業名称		対象技術分野	事業内容	対象者等	補助・委託規模(上限金額)				事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間, 参考サイト, 備考(過去採択率等)	
スタートアップ支援	社会ニーズ・政策課題に基づく研究開発テーマ解決にチャレンジする スタートアップを支援 **SBIR推進プログラム** **(Small Business Innovation Research)**		各省庁ニーズに基づく研究開発課題	政府機関が解決を目指す社会課題を基に研究開発テーマを設定し、その解決に資する研究開発成果を円滑に社会実装しイノベーション創出につなげ るスタートアップや中小企業を支援します。 フェーズ1 基盤研究のための概念実証・実現可能性調査を実施 フェーズ2 実用化に向けた研究開発を実施	研究開発型スタートアップ	フェー ズ1	一気通貫型	定額補助: 負担率 100%	2 千万円/事業期間	原則として 1年以内	それぞれ年1回程度 連結型 公募予告：2026年2月17日 公募期間：2026年3月16日～4月3日 一気通貫型 公募予告：2026年4月10日 公募期間：2026年5月13日～６月12日	2021/08/16～2021/9/17 2022年度 第1回 5/26～6/27 第2回 6/28～7/29 第2回福祉課題 7/4～8/5 2023年度 連結型 6/30~7/31 一気通貫型 3/31~5/10 2024年度 連結型 4/1～5/1 一気通貫型 4/30～5/31 2025年度 連結型 3/21～4/21 一気通貫型 5/14～6/13	2021年度 :採択14件/応募40件 2022年度第1回：採択 7件/応募20件 福祉課題:採択 3件/応募12件 2022年度第2回：採択 2件/応募 7件 福祉課題:採択 1件/応募 9件 2023年度一気通貫型:採択19件/応募41件 連結型:採択 8件/応募 10件 2024年度 連結型:採択20件/応募35件 一気通貫型:採択18件/応募43件 2025年度 連結型:採択 8件/応募37件 一気通貫型:採択11件/応募34件
							連結型	1.5千万円/事業期間					
						フェー ズ2	一気通貫型	補助: 補助率 2/3	1億円/事業期間	原則として 2年以内			
	革新的な省エネルギー技術の開発と共に、 社会実装に向けた取り組みを支援 **脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム**	**個別課題推進スキーム**	省エネルギー 「省エネ法」で定められたエネルギー(燃料、熱、電気)の使用量削減に繋がる技術開発・調査	「省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略2024」で掲げる重要技術を中心に2040年度に高い省エネルギー効果が見込まれる技術のシーズ発掘から事業化までを一貫して支援する、テーマ公募型助成事業です。	企業・大学等 (企業必須､大学 単独の提案は不可)	FS調査フェーズ		助成率3/4以内 1千万円/年 (技術開発費上限※3)		1年以内	年1回程度 公募予告：2025年12月26日 公募期間： <①非化石エネルギーへの転換を含まない提案> 2026年2月9日～2026年3月17日 <②非化石エネルギーへの転換を含む提案> 2026年2月9日～2026年6月23日	2021/3/29～2021/5/13 2022/2/3～2022/3/14 2022/7/25～2022/8/24 2023/2/2～2022/3/13 2023/7/10~2023/8/24 2024/3/8~2024/4/18 2025/2/7~2025/3/13 2026/2/9～2026/3/17（①） 2026/2/9～2026/6/23（②） ※3:NEDO負担率+実施者負担額 ※4:複数フェーズでの事業を行う場合、次フェーズに進む際に継続可否の審査を行う。 ※5:事業期間が3年以上の場合、途中で継続可否の審査を行う。	2021年度 :採択20件/応募46件 2022年度 :採択17件/応募38件 2022年度追加:採択9件/応募18件 2023年度 :採択21件/応募38件 2023年度追加:採択13件/応募22件 2024年度 :採択22件/応募36件 2025年度 :採択21件／応募47件 2026年度①：採択16件／応募35件 2026年度②：採択2件／応募13件
						インキュベーション 研究開発フェーズ		助成率2/3又は1/2以内 2千万円/年 (技術開発費上限※3,4)		2年以内			
						実用化開発フェーズ		助成率2/3又は1/2以内 5億円/年 (技術開発費上限※3,4)		5年以内 ※5			
						実証開発フェーズ		助成率1/2又は1/3以内 10億円/年 (技術開発費上限※3,4)		3年以内 ※5			
		重点課題推進スキーム				重点課題推進 スキーム		助成率2/3又は1/2以内 10億円/年 (技術開発費上限※3,4)		フェーズⅠ：5年以内 ※5 フェーズⅡ：3年以内 ※5			
	再生可能エネルギー分野の事業化を目指した技術開発を支援 **新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた 技術研究開発事業**		再生可能エネルギー等	本事業は、技術の事業化までのステップや事業化計画の進捗状況に合わせて、2つの制度(新エネ中小・スタートアップ支援制度、未来型新エネ実証制度)及び新エネ中小・スタートアップ支援制度に５つのフェーズ(社会課題解決枠フェーズA及びB､新市場開拓枠フェーズα及びβ,フェーズC)を設け、中小・スタートアップ企業等による再生可能エネルギー普及に資する事業のご提案を公募・選定し、事業化を見据えた技術開発支援を行います。また、「イノベーション・コースト構想」の推進につながる技術開発や実用化・実証研究については支援を強化します。	中小企業等	社会課題解決枠		フェーズA 補助率8/10 1千万円/件		1年以内	フェーズ A/B/α/β/C 公募予告：6月22日 公募期間：2026年8月7日～9月7日 未来型 公募予告：6月22日 公募期間：2026年8月7日～9月7日	2024年度 第1回 フェーズA/B/α/β/C 2024/3/25～2024/5/16 第2回 フェーズA/B/α/β/C 2024/9/2～2024/10/10 未来型 2024/8/9～9/20 2025年度 第１回 フェーズA/B/α/β/C 2025/4/24～2025/6/12 第2回 フェーズA/B/α/β/C 2025/10/8～2025/11/25 未来型 2025/10/8～2025/11/25 2026年度 第1回フェーズA/B/α/β/C、未来型 3月27日～5月14日	2022年度 （第1回):採択5件/応募21件 2023年度 (第1回):採択7件/応募25件 (フェーズD):採択1/応募3件 (第2回):採択4件/応募19件 2024年度 （第1回):採択6件/応募16件 (第2回):採択2件/応募9件 (未来型):採択2件/応募4件 2025年度 （第1回):採択4件/応募21件 (第2回):採択4件/応募13件 (未来型):採択2件/応募2件 2026年度 （第1回新エネ中小):採択12件/応募26件 (第1回未来型):採択２件/応募5件
						新市場開拓枠		フェーズα 補助率2/3 1千万円/件		1年以内			
								フェーズβ 補助率2/3 7千万円/件		2年以内			
						フェーズC：補助率 2/3 1.5億円/件				2年以内			
					国内に登記済の 企業等	未来型新エネ実証制度 補助: 補助率 2/3 3億円/件(大企業は補助率1/2) ※事前準備 2千万円				事前準備1年 実証3年以内			
	調達を見据えた、大企業等とスタートアップ間の連携を強化 **大企業等のスタートアップ連携・調達加速化事業** (HiP/PoP/CPP)		ー	調達を見据えた、大企業等とスタートアップ間の連携を強化するとともに、大企業等の経営課題の解決に取り組むスタートアップの取組を後押 しします。	【HiP】- 【PoP】/【GX_PoP】/【CPP】/【GX_CPP】 大企業等＋ス タートアップ	【HiP】- 【PoP】/【GX_POP】補助率： 2/3以下 【CPP】/【GX_CPP】補助率： 1/2以下 (詳細要確認)		【HiP】- 【PoP】/【GX_PoP】1億円以内 【CPP】/【GX_CPP】10億円以内		【PoP】/【GX_PoP】1年程度予定 【CPP】/【GX_CPP】 1~3年程度	【HiP】- 【PoP】2026年10月13日公募予告 【CPP】-	【PoP】2025年12 月10日～2026年1月9日 【CPP】2026年8月26～2026年9月30日	【HiP】2025年度:採択3件/応募10件 【PoP】2025年度:採択9件/応募14件

	事業名称		対象技術分野	事業内容	対象者等	補助・委託規模(上限金額)	事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間, 参考サイト, 備考(過去採択率等)	
技術シーズ発掘・育成（産学連携）支援	次世代のイノベーションを担う人材の育成、我が国における新産業の創出に貢献 **官民による若手研究者発掘支援事業**		産業技術分野 エネルギー・ 環境分野	目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う若手研究者を発掘し、実用化に向けた産学連携体制での研究開発の形成・実施を支援することにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的として実施します。	大学等の若手研究者(45歳未満) 出産・育児・介護により研究に専念できない期間があった者については50歳未満	<マッチングサポートフェーズ> 補助:1テーマあたり1千万円以内	最大2年	公募期間 2026年3月31日～2026年5月11日	2020/12/28～2021/2/5 2021/8/31～2021/10/25 2022/3/28～2022/5/16 2023/2/6～2023/4/11 2024/3/27～2024/5/14 2024/10/11～2024/11/19 2025/3/31～2025/5/9 2026/3/31～2026/5/11	
						<共同研究フェーズ> 補助:1テーマあたり3千万円以内/年 ※企業からの共同研究等費と同額以下	最大３年			
					共同研究フェーズに おいて大学等と共同 研究等を実施する企 業に所属する若手研究者(45歳未満)	<共同研究フェーズ(企業人材博士課程派遣型)> 補助:1テーマあたり5百万円以内/年 ※補助事業に企業が要する補助対象費用の1/2				
					大学等	<契約学科型> 補助：１テーマ当たり１億円以内/年　2/3以内	最大６年度	公募予告 2026年8月26日～9月下旬 公募期間 2026年10月6日～11月4日	2026/3/31～2026/5/11	
	科学とビジネスの近接化時代の大規模産学連携拠点形成事業 **ディープテック・スタートアップ支援基金事業（DTSU）**		産業技術分野 エネルギー・ 環境分野	大学等と産業界が連携して実施する社会実装を見据えた研究開発を支援することにより、ディープテック・スタートアップの創出の拡大とそれらの創出に繋がる環境整備、産学連携のすそ野の拡大を推進し、大学等を中心として科学技術・資金・人材が集結・循環する産学連携拠点の形成を目的として実施します。	大学等	<国家戦略技術領域研究> 最大25億円　※2/3補助　補助対象費用の総額の下限は15億円 <地域産業技術領域研究> 最大10億円　※2/3補助　補助対象費用の総額の下限は7.5億円	最大3年度	公募予告 2026年8月26日～9月下旬 公募期間 2026年10月6日～11月4日	2026/3/31~2026/5/11	
	将来の国家プロジェクトになり得る 革新的な技術シーズの発掘・育成 **NEDO先導研究プログラム** **新技術先導研究プログラム**	**エネルギー・環境新技術 先導研究プログラム**	エネルギー・ 環境分野	脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産 学連携体制による共同研究等につなげます。	企業・大学等による 産学連携体制のみ	委託(NEDO100%負担) 1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内 (中間評価の結果による)	最長3年間 2年目に 中間評価	公募期間 2026年1月26日～2月27日	2020/12/25~2021/2/12 2021/12/28~2022/2/16 2022/12/27~2023/2/15 2024/1/26~2024/2/29 2025/1/27~2/28	2022年度:採択20件/応募77件 2023年度:採択16件/応募75件 2024年度:採択21件/応募49件 2025年度:採択14件/応募45件 2026年度:採択5件/応募22件
		エネルギー・環境分野に おける革新的技術の国際共同研究開発	エネルギー・ 環境分野	脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます。我が国大学・公的研究機関等が諸外国の研究機関等との間で連携・協力して行うことを前提と します。	研究機関・大学等（企業・大学等による産学連携体制を推奨、企業のみの体制は不可）	委託(NEDO100%負担) 初年度：2.5千万円以内 2年度：5千万円以内 3年度：5千万円以内 (中間評価の結果による) 4年度：2.5千万円以内 (中間評価の結果による)	最長３年間 2年目に 中間評価	公募期間 2026年1月26日～3月26日	2020/12/25~2021/2/12 2021/2/28~2022/2/16 2023/1/27~2023/３/27 2024/1/26~2024/3/26 2025/1/27 ～3/26	2021年度:採択4件/応募41件 2022年度:採択3件/応募31件 2023年度:採択5件/応募17件 2024年度:採択9件/応募21件 2025年度:採択6件/応募16件 2026年度 採択4件/応募11件
		新産業・革新技術創出に 向けた先導研究プログ ラム	産業技術分野	新産業・革新技術創出に向けて、事業開始後15年から20年以上先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげます	企業・大学等による 産学連携体制	委託(NEDO100%負担) 1年目：1億円以内 2年目：5千万円以内 3年目：5千万円以内 (中間評価の結果による)	最長3年間 2年目に 中間評価	-	2021/2/10~3/26 (マチ先) 2021/12/28~2022/2/16 2022/1/28~3/14 (マチ先) 2022/12/27~2023/2/15 2024/1/26~2024/2/29 2025/1/27 ～2/28	2021年度:採択8件/応募61件(マチ先) 2022年度:採択3件/応募31件 2022年度:採択2件/応募46件(マチ先) 2023年度:採択9件/応募64件 2024年度:採択4件/応募20件 2025年度:採択6件/応募39件
	フロンティア領域における技術の探索・育成 **NEDO先導研究プログラム** **／フロ ンティア育成事業**	**フロンティア育成事業**	エネルギー・ 環境分野 産業技術分野	新規分野でのイノベーションの創出に向けて、フロンティア領域※における技術を探索・育成します	産学連携体制 /民間企業のみ /大学・公的研究機関等のみ	技術の内容やTRL等に応じて、実施期間や事業規模を課題ごとに 柔軟に設定		公募期間 2026年1月26日～2月27日	2025/ 1/27 ～2/28	2025年度:採択11件/応募16件 2026年度:採択26件/応募66件
	従来の発想によらない革新的な低炭素技術シーズを探索・創出 **NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ**		産業技術分野	脱炭素社会の実現に向けて、事業開始後30年先の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズを発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学 連携体制による共同研究等につなげます。	産学連携体制 /大学・公的研究機関等のみ	委託(NEDO100%負担) 5百万円～2千万円程度/年	最長5年間 ※2～3年目に中間評価	公募期間 2026年2月2日～2026年4月1日	2021/4/27～2021/6/30 2022/3/28～2022/5/23 2023/2/1～2023/4/3 2024//2/1～2024/４/1 2025/2/3～4/1	2022年度:採択8件/応募38件 2023年度:採択7件/応募93件 2024年度:採択7件/応募70件 2025年度:採択8件/応募94件 2026年度:採択5件/応募113件

	事業名称	対象技術分野	事業内容	対象者等	補助・委託規模(上限金額)		事業期間	公募予告/公募期間	過去の公募期間, 参考サイト, 備考(過去採択率等)	
エコシステム形成	研究開発型スタートアップ支援の中核的な役割を担う、「支援人材」を輩出 **研究開発型スタートアップ支援人材育成特別講座 (SSA)**	–	日本のベンチャー・エコシステムの構成員としての公益的視点、広い知見や高い専門性を持って先端の研究開発型スタートアップの発掘から成長を伴走支援できる、現場の中核的役割を担う高度専門支援人材、上記のキャリアパスを志向するイノベーション支援人材を、産・学・官・ 公・民の横串で育成します。	個人	人材育成プログラム		-	公募期間 2027年度募集は未定	2025/4/3~2025/4/18 2025/9/22~2025/10/8 2026/8/19~2026/9/7	2022年度(第1回)：参加39名/応募93名 （第２回）：参加39名/応募101名 2023年度：参加39名/応募85名 2024年度(第1回)：参加40名/応募71名 （第２回）：参加40名/応募79名 2025度(第1回)：参加40名/応募73名 （第2回）：参加40名/応募76名
	研究開発型大学発スタートアップの経営人材確保を支援 **大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 (MPM)**	–	VC等が経営人材を発掘・育成し、大学等の技術シーズや大学発スター トアップとのマッチングを行うための取組を支援します。	VC等事業者	委託: NEDO負担率 100%	8千万円以内/件・事業者 ★金額含め詳細別途要確認 ★加速枠は別途要確認	1.5年程度 ★加速枠は別途要 確認	公募期間 2026年4月1日～4月30日	2023/4/18~2023/5/29 2024/3/29~2024/5/13 2025/3/28~2025/5/7	2023年度:採択8件/応募21件 2024年度:採択8件/応募17件 2025年度:採択10件/応募19件 2026年度:採択6件/応募21件
	スタートアップ創出型カーブアウトを支援 **事業会社等が保有する革新的な技術を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップ創出等促進事業** **【実証事業】**	–	事業会社が保有する革新的な技術等を活用したカーブアウトによるディープテック・スタートアップを創出する「スタートアップ創出型カーブアウト」の加速・促進に向けて、導入に向けて支援します。	VC等事業者	委託: NEDO負担率 100%	6千万円以内/件・事業者 ★加速枠は別途要 確認	1.5年程度 ★加速枠は別途要 確認	公募期間 2026年4月8日～5月11日	2024/3/22～2024//22	2024年度:採択5件/応募6件 2026年度:採択5件/応募6件
	オープンイノベーションを自ら構想し、事業として実装まで導くことのできる人材を育成 **JOIC-OIA** **（JOIC Open-Innovation Acceleration Academy）**	–	日本のオープンイノベーション推進を目的に、自社の経営・事業課題を起点として、スタートアップとの共創を自ら構想し、 社内を動かし、事業としての実装まで導くことができる「共創人材」を募集し、育成します。	個人 （事業会社の部署単位での応募を予定）	人材育成プログラム			公募期間 2027年度募集は未定	2026/8/17~2026/9/7	